

2015 ふくしまキッズ春プログラム開催概要

1.実行委員長挨拶

～2015春プログラム参加するにあたって

ふくしまキッズ実行委員会 委員長 進士 徹



東日本大震災・原発事故から4年の時間が経過しました。生活は普通になって来ましたが、放射線と隣り合わせの暮らしになってしまった福島県ですから、どこかに不安をかかえながらの日常で、実に複雑な思いです。

「ふくしまキッズ」の活動は2011年の夏休みから始動しました。その時に、5年間は必ず活動をしますと宣言し、今年がお約束の最終年になります。活動の完了を惜しむ声もありますが、その時々の変化に対応しながら、しっかりと子ども達の成長を図るために、「ふくしまキッズ」の活動を次のステップに切り替える時期であると感じています。

その時に、大切なことがあります。私たち実行委員会は、「子ども達の笑顔と元気を・・・」という活動目的を共有していただいたご家庭と共に歩んできました。だからこそ、子どもたちのめざましい成長をともに感じる事が出来ました。そしてこの子達が、新生福島、私達の郷土を創り上げてくれると信じています。

こうした成果を得られたのも、この5年の活動を支えていただいた支援者の皆様がおられるからで、その々に活動の成果をお知らせし、お礼を伝える必要があります。そのため、10月には多大な支援を頂いた「ジャパンソサエティー」はじめ、多くの海外の支援者の方々に感謝を伝える報告会をニューヨークの国連本部前で開催し、11月には磐梯熱海において、最終報告会フェアウェルパーティーを計画しています。どうかご理解とご協力をお願いいたします。

そうした計画を準備しながら、この3月には12回目となる「ふくしまキッズ春プログラム」がスタートします。今回は、北海道・大沼・ゆうばり、飛騨高山、富士山、京都、金沢白山麓、長崎、そして県内の8カ所での開催と、参加コースも盛りだくさんになって来ました。各受け地では、準備態勢も整えつつあります。この連携も日本各地に広がり、子どもたちにとっても学び多き春の活動になると確信しています。

皆様におかれましては、この参加要項を確認しながら準備を進め、ふくしまキッズの活動に心を同じくしてくれる人が全国に、全世界にいることを忘れないで参加していただきたいと思います。

2.ふくしまキッズの基本理念

本プログラム(「ふくしまキッズ」)は、福島原発事故により深刻な影響を受けている福島の子どもたちに、せめて学校長期休暇期間に、放射能の心配をすることなく思いっきり遊び、子どもらしくのびのび過ごすことのできる環境を提供することを基本の目的としています。また同時に、「ふくしまキッズ」の活動で子どもたちの「学びと育ち」を支援する各種教育事業を実施し、復興福島を担う人材を育成することを目的とします。

この事業計画にご賛同いただいた福島在住の保護者の方々のお子様たちを対象にしております。基本的には希望者全員をお引き受けすることを原則とし、受け入れ先についてはふくしまキッズ実行委員会での選考により決定いたします。

本プログラム実施にかかわる諸経費は、全国の皆さまからの支援金で賄います。こうして、多くの皆さまの支援のもと、本プログラムを継続的に実施することで、支援の輪を徐々に広めながら、「子どもを社会で育てる」という機運を高めていきたいと思えます。

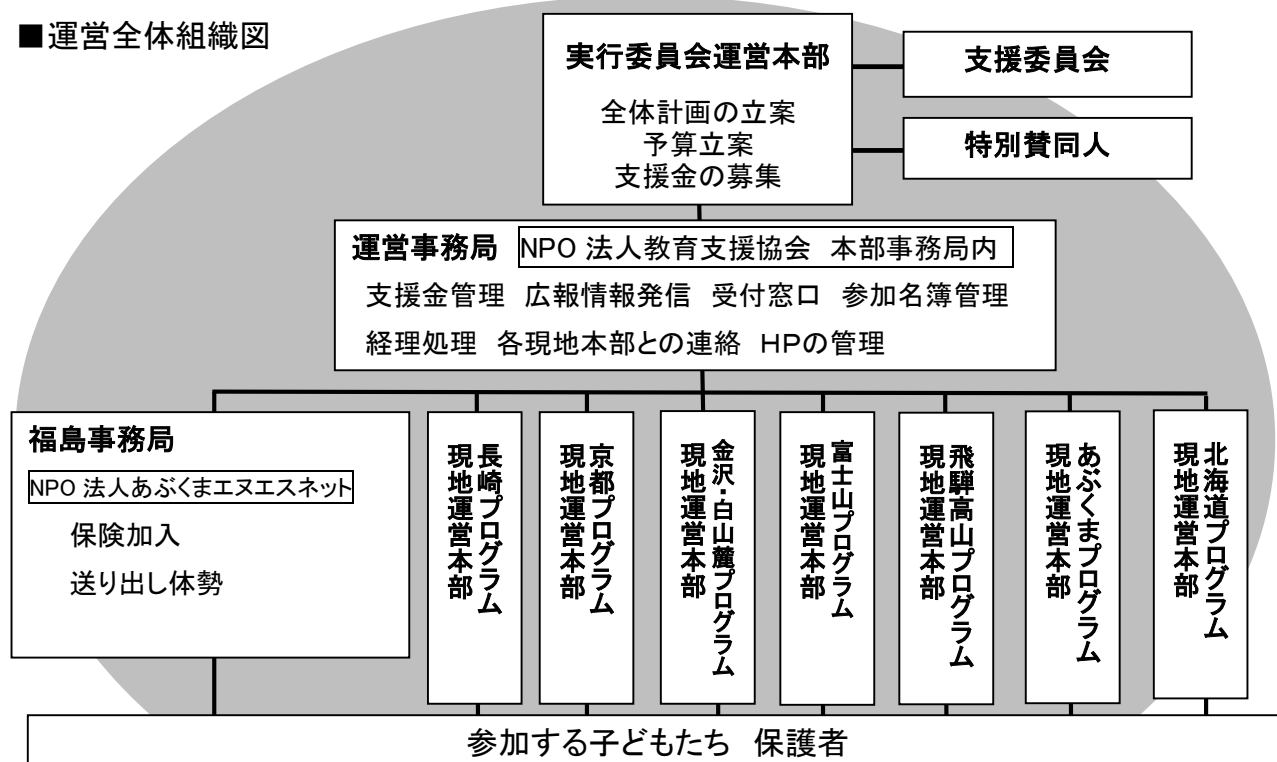
このように「ふくしまキッズ」の活動では、世界中の方々からこの活動を支えていただくために支援金を募集しておりますが、保護者の皆様にも子どもたちの活動へ「参加費」としてご負担をお願いしております。(ただし、生活保護家庭は全額無償としておりますので、対象となる方はお申し出ください。)

事業実施にあたっては実行委員会が、本プログラムの活動趣旨に賛同したうえで協力関係を築いていただける受け入れ地(受入協議会)と協働して、運営します。



3. 2015 ふくしまキッズ春のプログラム運営体制

■運営全体組織図



■運営・主催・体制

主催 : ふくしまキッズ実行委員会

事務局 : 特定非営利活動法人教育支援協会 本部事務局

神奈川県横浜市南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設9階 フリースペースみなみ内

TEL: 045-243-3860

FAX: 045-243-6841

E-mail: info@fukushima-kids.org

北海道プログラム

現地本部

NPO 法人 ねおす

札幌市中央区南3条西17丁目 291-227 すずかけビル3F

TEL: 011-615-3923 Email: npo@neos.gr.jp URL: www.neos.gr.jp

あぶくまプログラム

現地本部

NPO 法人あぶくまエヌエスネット

福島県東白川郡鮫川村大字赤坂東野字葉貫 57

TEL: 0247-48-2508

FAX: 050-3730-7788

飛騨高山プログラム

現地本部

NPO 法人教育支援協会東海

名古屋市西区南川町 297

TEL: 052-505-4900

富士山プログラム

現地本部

ホールアース自然学校

静岡県富士宮市下柚野 165

TEL: 0544-66-0152

FAX: 0544-67-0567

金沢・白山麓プログラム

現地本部

ジロバタ自然学校(白山麓ジロバタ舎)

〒920-2113 石川県白山市八幡町 367-2

TEL: 080-4254-7811 Email: nakajima.jirobata@gmail.com

京都プログラム

現地本部

関西自然教育ネットワーク(KENN)

京都府南丹市美山町田歌上五波

田歌舎

TEL: 0771-77-0509

FAX: 0771-77-0539

長崎プログラム

現地本部

長崎純心大学

〒852-8558 長崎市三ツ山町 235 担当 松永公隆

TEL: 095-846-0084(内線 355) FAX: 095-849-1894 E-mail: K_matunaga@n-junshin.ac.jp

ふくしまキッズ実行委員会

委員長：進士 徹	(NPO あぶくまエヌエスネット理事長)	全体総括・福島県内活動受け入れ担当
副委員長：吉田 博彦	(NPO 教育支援協会代表理事)	事務局長・支援金募集・渉外担当
実行委員：宮本 英樹	(NPO ねおす理事)	常任実行委員
実行委員：安江 こずゑ	(NPO 教育支援協会北海道代表理事)	常任実行委員
実行委員：上田 融	(NPO ねおす理事)	北海道受け入れ担当
実行委員：高橋忠明	(NPO 教育支援協会東海理事)	岐阜受け入れ担当
実行委員：村瀬 容子	(ホールアース自然学校)	静岡受け入れ担当
実行委員：中嶋 謙仁	(ジロバタ自然学校(白山麓ジロバタ舎))	石川受け入れ担当
実行委員：藤原 誉	(田歌舎)	京都受け入れ担当
実行委員：松永公隆	(長崎純心大学教授)	長崎受け入れ担当
監査委員：金野 栄太郎	(公認会計士)	会計管理・決算管理担当

ふくしまキッズ支援委員

玄侑 宗久	(作家・震災復興構想会議委員)
白石 康次郎	(海洋冒険家)
ジョン・ギャスライト	(中部大学教授・ツリークライミングジャパン代表)
田口 ランディ	(作家)
寺脇 研	(京都造形芸術大学教授)
戸塚 隆	(ジャーナリスト)
中島 岳志	(北海道大学大学院法学研究科准教授)
藤田 保	(上智大学教授)
矢吹 俊男	(北海道公民館協会事務局長)
湯川 れい子	(音楽評論、作詞家)
吉田 研作	(上智大学教授)

(50 音順、敬称略)

ふくしまキッズ特別賛同人

秋山 豊寛	(ジャーナリスト・宇宙飛行士・京都造形芸術大学教授)
荒井 満	(作家・作詞作曲家)
鎌田 實	(医師・作家)
小林 武史	(音楽家・ap bank 代表理事)
坂本 龍一	(音楽家)
西田 敏行	(俳優)
日野原 重明	(聖路加国際病院理事長・日本音楽療法学会理事長)
細川 佳代子	(NPO 法人勇気の翼インクルージョン 2012 理事長)
吉永 小百合	(俳優)

(50 音順、敬称略)

2015 ふくしまキッズ春プログラムについて

各コース日程について

春プログラムは、福島県内・県外 6地域にて開催いたします。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (1)「北海道プログラム」 | 北海道(主要拠点:①七飯町大沼 ②三笠市) |
| 2015年3月24日(火)～4月2日(木) 9泊10日 | |
| (2)「あぶくまプログラム」 | 福島県(主要拠点:東白川郡鮫川村) |
| 2015年3月24日(火)～4月4日(土) 3泊4日 | |
| (3)「飛騨高山プログラム」 | 岐阜県(高山市、各務原市、垂井町) 愛知県(名古屋市) |
| 2015年3月25日(水)～4月3日(金) 9泊10日 | |
| (4)「金沢・白山麓プログラム」 | 石川県(主要拠点:白山市) |
| 2015年3月25日(水)～4月1日(水) 7泊8日 | |
| (5)「富士山プログラム」 | 静岡県(富士宮市) |
| 2015年3月25日(水)～4月1日(水) 7泊8日 | |
| (5)「京都プログラム」 | 京都府(主要拠点:南丹市美山町) |
| 2015年3月26日(木)～4月4日(土) 9泊10日 | |
| (6)「長崎プログラム」 | 長崎県(主要拠点:長崎純心大学) |
| 2015年3月25日(水)～3月30日(月) 5泊6日 | |

ふくしまメッセージについて

皆さんの福島原発事故から今に至る心の有り様を、引き受けていただく地域の方々にわかるように、そのまま書いてください。メッセージは参加するお子さま、保護者の方のそれぞれでお書きいただき、参加当日に必ずお持ちください。

内容については、1～4を参考にしてください。

- 1.子どもながらに感じる事。保護者の方は、福島で生きなければならない人生の選択。
- 2.お世話になる受入れ地の子どもたち、地域の人たちへメッセージを。
- 3.ふくしまキッズの活動で思うこと。
- 4.支援金の寄付で活動を応援してくれた方々へ向けて・・・。

機会を設けて、受入れ地で発表していただく予定です。

ふくしまメッセージは、10年後、30年後、100年後の未来に伝える貴重なメッセージとなるはずです。ふくしまキッズ実行委員会のHPにも掲載させていただきます。

参加費について

県外プログラム（北海道、飛騨高山、富士山、金沢・白山麓、京都、長崎）

子ども一人につき3万円

※ 北海道大沼コースでは、幼児（保護者同伴）の受入れが可能です。その場合、幼児に同伴される保護者の参加費は3万円、滞在費を1日4千円とします。保護者の皆様には活動中様々なお手伝いをお願いする場合がありますことをあらかじめご了承ください。

県内プログラム（あぶくま）

子ども一人につき5千円

生活保護家庭を受給されているご家庭へ
生活保護を受給されているご家庭については参加費全額無料とさせていただきますので、
生活保護受給者証の写しを、事務局まで提出してください。

●キャンセルについて

1) キャンセルをされる場合は、メール・FAX・郵送のいずれかで必ずご連絡ください。お電話でのキャンセルは承っておりません。キャンセルの際は出発日を基準とし、以下のキャンセル手数料を申し受けます。なお、返金手数料として一律 2,000 円（振込み手数料＋諸経費）を申し受けます。

長崎プログラム（飛行機利用）

出発日の21日前から9日前まで	30%
出発日の8日前から2日前まで	50%
出発日前日	70%
出発当日以降	100%

北海道、あぶくま、飛騨高山、富士山、金沢・白山麓、京都プログラム

出発日の16日前から13日前まで	30%
出発日の12日前から2日前まで	50%
出発前日・当日以降	100%

- 事務局に書類・メール・FAX などが到着し確認できた時点でキャンセルの受理といたします。参加費を納入しないことはキャンセルの意思表示にはなりませんので、ご注意ください。
- キャンセル後の返金は春プログラムの全日程終了後（平成 27 年 4 月 6 日以降）の処理になります。
- 出発時に遅刻しプログラムに参加できない場合は当日キャンセルの扱いとなります。
- 当日キャンセルの場合は、集合場所に保護者の方がおいでいただき、スタッフに伝えてください。緊急の場合は、引率責任者へ連絡ください。

安全管理や医療体制について

●主催者側が活動を中止と判断した場合

- 1) 自然災害(地震・台風・大雪など)やその他の理由(インフルエンザ・開催地に深刻な被害のある場合など)により主催者側で安全にプログラムが実施することが困難と判断した場合、申込書に記載いただいたご連絡先(FAX・E-mail・電話)に直接ご連絡いたします。
- 2) 主催者側がプログラムの中止を事前に判断した場合、参加費より返金手数料(一律2,000円)を除いた金額をご返金いたします。プログラム開始後の自然災害など不可抗力要因により活動期日を短縮した場合にはご返金しかねますのであらかじめご承知おきください。

●安全管理

- 1) 各種活動フィールド、施設、移動手段等は、基本的に安全確認済みです。
- 2) 活動フィールドの下見と対策、リーダー研修の実施、参加者への安全教育など、危険を最小限にするための安全対策を講じ、また活動中は同様にスタッフが細心の注意を払いますが、100%事故が起きない保障はできません。万が一に備えて主催者側で傷害保険に加入いたします。

●傷害保険

- 1) 有事の際は、主催者側の過失の有無にかかわらず、当該保険の範囲で補償いたします。なお、疾病は適用外となります。

保険加入内容:日本アウトドアネットワーク野外活動包括保険

入院保険金:5,000円/日(180日限度) 通院保険金:3,000円/日(90日限度) 救援者費用:100万円(上限)

- 2) 活動中の通院につきましては、一旦実費負担となります。また1回の通院にかかわる手配同行手数料(2,000円)も合わせてご負担いただきます。ご家庭へは後日清算させていただきます。

●緊急医療体制

- 1) 主催者、及び指導者は安全確保を最優先いたしますが、参加者も自己責任をモットーに行動してください。事故発生時には各地で組んでいる緊急医療体制に従って対応します。
- 2) 傷害保険に加入しています。万一、事故が起きたときは当該保険の範囲での保証になります。ご了承ください。
- 3) 期間中の持病の発病や本人の不注意によって生じた事故については、主催者及び指導者は責任を負いません。病気やケガ、精神的な理由により帰宅させるのが望ましい状況になった場合は、速やかにご家庭に連絡を入れ、ご相談したうえで対応いたします。お子さまにやむをえず帰宅いただく際は、原則保護者にお迎えに来ていただきます。保護者のお迎えが困難な場合は、運営側で引率しますが、この場合実費交通費を後日ご請求させていただきます。その際参加費の返金はい行いませんのであらかじめご承知おきください。

●保険証のコピー

- 1) 健康保険証コピーをご持参ください。
※健康保険証のコピーは、封筒に入れてのりづけし、封筒表に「保険証コピー」と記載、参加者(子ども)の氏名を明記しご提出ください。兄弟姉妹でご参加いただく場合でも、健康保険証のコピーは別々にご準備ください。
- 2) 病院によっては、コピーした健康保険証では保険の適用を行わないことがあります。その場合には全額自己負担となりますが、後日「療養費」として払い戻しを受けることができます。

●指導者

運営本部と現地本部運営団体と委託協力契約を結びます。開催受入地では、プログラム全体運営、宿泊手配、食事手配、医療環境整備など進めます。受入地で多くの協力を得ながらプログラムの指導体制を構築し、安全に子どもたちが楽しく生活を送れるように支援していきます。子どもたちの生活班、活動班に直接配属され、生活面(食事、入浴、就寝、体調の管理など)から活動に至るまでの全てのプログラムについての安全管理をしていきます。

持ち物について

●荷づくりにあたり

- 1) コースによりご持参いただく荷物が違います。細部ご確認をお願いいたします。
- 2) 持ち物は、保護者だけで準備せずにお子さまに荷づくりをさせてください。準備の段階からすでに活動は始まっています。
- 3) ご家庭で何度も荷物整理の訓練をしてください。くれぐれも忘れ物がないようお願いいたします。
- 4) 着替えは1日ごとに袋に入れてください。お子さん本人も把握しやすいです。
- 5) 必ず所持品全てに名前を記入してください。忘れ物を出さないためにもお願いします。
- 6) 荷物は日常使っているものを持たせてください。(新しい物は、お子さんが自分の物の認識が薄くなる傾向があります。)

●持ってきてはいけないもののリスト

- ☐ ゲーム機、個人で遊べてしまうもの
 - ☐ 携帯電話、個人で連絡を取れるもの
 - ☐ 貴重品、不必要な現金(時計など高価なものやなくして困るようなもの)
 - ☐ マッチ、ライター、ナイフ類
- ※お友達と一緒に遊べるもの(トランプなど)はお持ちになっても構いません。

●薬について

薬は、原則自己管理となります。スタッフが食後などに声かけはしますが、現在服用している薬がある場合には、事前に用法をお子さまによくご説明ください。持参する薬は普段飲み慣れているものにしてください。特別な薬を服用する場合は、薬と処方箋をいっしょに袋に入れ、必ず名前をご記入ください。持参した薬は決して他の子どもに与えないよう、ご家庭でもお子さまにお伝えください。

●持ち物の紛失について

持ち物の紛失、破損(汚れを含む)についての責任は負いかねますので、予めご承知おきください。本人の責任においてお取り扱いください。

●初日のお弁当について

初日のお弁当は、「おにぎりもしくはサンドイッチ」で統一します。必ず当日作るようにしてください。ゴミの減量にご配慮のほどよろしくお願いいたします。

保護者のみなさまへ

●毎日の活動の様子

活動最中の様子は、ふくしまキッズのホームページからご覧いただけます。
ふくしまキッズホームページ URL <http://fukushima-kids.org/>

●保護者の方へお願い

- 1) お子さんが一時家を離れることになります。ご家庭でも事前に勇気づける言葉をかけてください。また帰宅する日は、お出迎えをお願いします。温かい言葉をかけてください。

●個人情報保護について

- 1) 参加申込情報、健康調査情報、保険証の写しについては、受入地で管理・保管して、参加者の同意を得た者以外の第三者に提供、開示等一切いたしません。
- 2) 今後事務局よりの各種ご案内やアンケートなどを、E-mail、郵便等により送信もしくは送付させていただきますが、参加者のお申し出があれば、これらの取扱いを中止することができます。
- 3) 活動期間中に撮影しました写真、ビデオなどにつきましては主催者側でHPやパンフレットなどの活動報告のために使用する事がございますので、あらかじめご了承ください(撮影は原則主催者のみ行います)。ただし、氏名・住所等の掲載・公開は一切いたしません。
- 4) 活動期間中にテレビ、新聞などの取材がある場合もございます。その際、インタビューを受けたお子さまの氏名などが掲載される場合もございますので、あらかじめご了承ください。テレビ、新聞などの取材が開始された後に、放送、取材を拒否することは、放送局、新聞社等に損害を与えますのでお断りします。
- 5) 写真、ビデオなどの使用に際し、不都合のある方は予め事務局までご連絡ください。

Q&A

Q: 4歳児がいますが、兄妹と一緒にならば親なしで参加可能ですか？

A: 幼児の場合、保護者が同伴でないと精神的な問題で宿泊などができないことが多くあります。そのため、小学生の兄弟と一緒にでも、小学生未満が参加するときは、親の同伴が義務づけられています。

Q: 福島県内に住所をおいてあるが、現在県外に避難しています。参加できますか？

A: 「福島県内に現在でも在住」の方を対象としていますので、参加対象外となります。

Q: 持病があり、自分で薬を服用したり、注射をします。その場合本人がきちんとできますが、スタッフも子どもと一緒にしてほしいのですが？

A: 体調管理として、毎身体調チェック表を作るようにします。スタッフも期間中確認する態勢でのぞみます。

Q: うちの子は9歳、6歳、3歳です。この企画を知りぜひ参加したいと思いましたが、3歳の子を残して参加させるわけにはいきません。そのため、親と同伴になると思いますが、親の参加費が一日4,000円だと金銭的にかなり厳しい人が多いと思います。親の滞在費を何とかしてもらえませんか？

A: 親の負担金については、実行委員会でもかなり議論した点でした。そこで我々が出した結論は、お子さまの滞在費については、全て支援金で賄うように、社会にこの事業を認知してもらい、出来るだけ多くの福島の子どもたちが活動に参加できるように努力しているところです。そして、一日4千円の生活諸経費のご負担を同伴したいただ親御さんをお願いする形で決まったことなのでご理解ください。決して営利目的での事業ではありません。

Q: 子どもがまだ幼いので、お風呂などの時にはボランティアの方が一緒に入ったりするのでしょうか？

A: 基本的に生活には学生ボランティアがつかますので、大丈夫です。ご安心ください。

Q: 体の不具合はなく活発ですが、ちょっと恐がりなところがあり、プログラムを全て参加できるかわかりません。なにしろ集団生活なので心配だらけです。

A: プログラムの参加は、ある程度柔軟に考えています。出来れば、今日の体験プログラムは「参加希望の子はどうぞ」と言うようなスタイルで行きたいと考えています。

Q: 健康管理、安全管理についてはどうなっていますか？

A: 体調管理については、プログラム開催中毎日『体調チェック票』を使ってその日の体調をリーダーが把握できるようにしています。また、現地のスタッフが活動場所を事前に下見して、危険箇所の確認をしています。

Q: 『おねしょ』が心配なのですが、大丈夫でしょうか？

A: 環境が変わると普段心配ないお子さまでもおねしょをしてしまうことはあります。心配な場合は健康調査書にその旨をご記入いただければスタッフが夜中に子どもを起こしてトイレに連れて行くなど対応します。やむを得ず貸出寝具を汚してしまった際、場合によってはクリーニング代を請求させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Q: 子どもに家へ電話させたいのですが、できますか？

A: ご家庭と電話連絡をとることは、お子さまの自立心を育てる妨げになりますので禁止とさせていただいております。事務局からご家庭に連絡がなければ、お子さまは元気に過ごしているとお考えください。今回のプログラム期間中には、原則ハガキをご自宅に出すことはさせません。なお緊急時には、事務局にご連絡ください。

Q: 乗り物酔いしやすいのですが・・・

A: 乗り物酔いをしやすい方は、酔い止めの薬を持たせてください。また、行きはご家庭で酔い止め薬を飲ませてください。帰りは、現地出発前にスタッフが子どもたちに酔い止め薬を飲むように伝えます。

Q: 現地でお土産を買ってもいいですか？

A: お土産を買う希望があれば行きます。ただし高価な物は控えるように指導します。

Q: お小遣いはどのくらい持っていけばよいですか？

A: 1,000円～5,000円程度でお願いいたします。お小遣いを使う場面としては、喉が渴いた際の飲み物を買う時や、お土産を買う程度です。財布は自己管理を基本としますが、必要な場合はリーダーが管理します。

Q: 解散の時に迎えにいけません。友達の保護者に頼んでもいいですか？

A: お迎えが保護者以外の方（友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など）は、必ず事前に事務局までご連絡をください。急な場合は直接受入地担当者または引率責任者へご連絡ください。

開催プログラム コース別詳細

北海道プログラム

北海道 大沼A 道南トリップコースについて

1. 開催日：3月24日（火）～4月2日（木）（9泊10日）※全日程参加が条件
2. 小学校1年生～中学3年生 定員 60名 ※幼児は保護者同伴で参加可能
3. プログラム内容

美しい駒ヶ岳と大沼がある自然のフィールドを満喫します。大沼のポイントは何と言っても個性あふれる学生・社会人ボランティアのキャラクター！何度も大沼で活動しているボランティアなので安心・安全、そしてたくましく毎日を過ごすことができます。多くのボランティアや地域の人々や小学校とのふれあいを体験しながら、北の大地で生活を重視したプログラムを展開します。「自分のことを少しでも自分でできるように」を目標に、健康的に遊んで、たくさん食べて、ぐっすり眠るという生活リズムで過ごします。遊びはどこよりも自由度が高く、子どもが自分のやりたい遊びを創りだし、その姿を大人は全力でサポートします！雪遊び、クラフト、木こり体験、夜はたき火、石焼サウナやドラム缶風呂、牧場で馬やヤギにも出会えます。

生活に慣れたら、高学年を中心に2泊3日のフィールドトリップに出かけます！時刻表や観光情報を見ながら、仲間たちと喧々囂々と話しあい、計画を練ります。JRで縦横無尽に道南の地域を巡り、地域特有の体験をします。旅は笑いありと涙ありのドラマで溢れています。電車を間違えたり、全然計画通りにいかない・・・ハプニングも旅の思い出です。ひと旅を終えた旅人たちの顔は自信にいつも満ちています。

2泊3日の合宿・民泊は低学年を中心に2泊3日のフィールドトリップに出かけます！合宿は仲間と一緒にわいわいがやがや過ごし、民泊はゆったりとした時間のなか各家庭で過ごし、そこで北海道の本場の暮らしを体感します。その土地ならではの過ごし方を食べたり、地域独自の習慣や秘密を知ること、親戚が新しくできるような、また訪れたいと思える地域・人が増えることでしょう。

最後は全員そろってのさよならパーティー！それぞれの思い出を振り返り、笑顔のフィナーレを迎えます。回を重ね常に進化を続ける大沼コースは、初めての参加の子、低学年の子にも優しいプログラム、かつリピーターの遊びの要求にも答え続けるスタッフ体制をとっています。その瞬間の面白い・楽しいことを大切に毎日過ごしていきます。

日付		内容	備考
3月24日	火	福島よりJR移動 大沼に到着	体・心の緊張をほぐします。 ◆青少年宿泊施設「ネイパルの森」宿泊
3月25日	水	自由時間・生活の時間	北海道の雪・外に慣れ、生活のリズムを整えます。 ◆大沼ふるさとの森自然学校宿泊
3月26日	木	自由時間・生活の時間	思いっきり雪・外遊びを楽しみます。 ◆大沼ふるさとの森自然学校宿泊
3月27日	金	高学年：フィールドトリップの計画 低学年：合宿・民泊の準備	出かける準備をします。 ◆大沼ふるさとの森自然学校宿泊
3月28日	土	高学年：フィールドトリップへ出発 低学年：合宿・民泊へ出発	各地域、受け入れ先での活動 ◆各地域施設、民家等宿泊

3月29日	日	高学年:フィールドトリップ 低学年:合宿・民泊	各地域、受け入れ先での活動 ◆各地域施設、民家等宿泊
3月30日	月	高学年:フィールドトリップから帰着 低学年:合宿・民泊から帰着	各地域、受け入れ先での活動 ◆各地域施設、民家等宿泊
3月31日	火	自由時間・生活の時間	思いっきり雪・外遊びを楽しみます。 ◆大沼ふるさとの森自然学校宿泊
4月1日	水	自由時間・生活の時間 さよならパーティー	最後の雪・外遊びを楽しみます。 ◆大沼ふるさとの森自然学校宿泊
4月2日	木	大沼よりJR移動 福島に到着	

※荒天時や積雪状況によってプログラム内容は変更となります、ご了承ください。

※毎日掃除、健康調査を行います。

※基本的に外遊び・雪遊びがメインの活動になります。

※民泊・合宿は地域の事情によりスケジュールの変更がございます。

※子ども約5人に対して1人のボランティアが付きます。部屋は男女別で10人～20人部屋、寝袋と毛布で寝ます。

※高学年と低学年はあくまで目安です、地域事情などにより、低学年であってもフィールドトリップへ、高学年であっても民泊・合宿へ行く場合がございますのでご了承ください。

プログラムの補足

- ・大沼駒ヶ岳を中心とした各地域の自然素材を活用した体験活動を行います。
- ・子どもたちは身の回りの事は、できる限り自分でしていただきます。学生ボランティアは基本的には見守り、必要に応じて補助をします。
- ・「生活時間」とは、洗濯や身の回りの整頓、勉強などの時間です。
- ・「自由時間・選択遊び」は、スタッフの準備したプログラムや子どもたちのやりたい遊びをいくつかのグループに分かれてあそぶ活動のことです。
- ・3月28日～30日は、「民泊（ホームステイ）＆合宿」プログラムです。ホームステイは大沼周辺の地域の方にホストファミリーとなっただき、3～4名に分かれて宿泊をさせていただきます。グループや宿泊先は、子どもたちやホストファミリーの意向を参考にしつつ、受け入れ本部で決定します。合宿とは、大人数で道南の地域施設に宿泊し、地域スタッフが準備したプログラムを体験させていただきます。

具体的な内容

- ・集団宿泊体験、合宿スタイルによる宿泊 集団での食事 身の回りの整理、片付け
- ・自然体験/雪を使った選択プログラム(雪遊び、氷あそび、ソリあそび、長ぐつホッケー、森探検など)
- ・牧場体験(馬やヤギとのふれあいなど)、林業体験(薪割り、間伐など)
- ・フィールドトリップ/計画づくり、グループでの集団行動
- ・民泊・地域交流プログラム/ホストファミリーの家での生活・宿泊体験、地域交流

プログラム中の生活について

子どもが子どもらしく伸び伸び過ごし、互いに協力し合い、楽しく生活を創りあげ、自分の事は自分でできるように努力していきましょう。約束ごとは現地に着いてからリーダーと決めて行きます。

基本的な生活スタイル

- 7:00 起床
- 7:30 朝食
- ・・・生活の時間（身支度、清掃、洗濯など）・・・
- 9:30 午前の活動(体験活動、自由時間)
- 12:00 昼食

13:30 午後の活動（体験活動、自由行動）
・・・生活の時間（入浴、休憩、清掃など）・・・
18:00 夕食
19:00 プログラムに合わせた時間（ミーティング、準備、グループタイムなど）
21:00 就寝 スタッフ会議

※片付けをする時間、掃除をする時間など、十分に持つようにします。このような活動には学生ボランティアが常に共有しますので、ご安心ください。

4. 宿泊場所

・3月23日～24日

ネイパル森 北海道茅部郡森町駒ヶ岳657-15 TEL:01374-5-2110

・3月25日～4月2日

大沼ふるさとの森自然学校 北海道亀田郡七飯町字東大沼294-1 TEL:0138-67-1726

5. 運営体制

団体名：南北海道グリーン・ツーリズム運営連合会

所在地：〒041-1351 北海道亀田郡七飯町字東大沼294-1

NPO法人大沼・駒ヶ岳ふるさとづくりセンター内

連絡先：TEL: 0138-67-3777 FAX:0138-67-1626

○総責任者：上田 融（NPO法人ねおす）

○連絡先事務局：菊地 敏孝（大沼ふるさとの森自然学校事務局長）

○安全管理責任者：穴澤 剛行（大沼ふるさとの森自然学校事業部長）

高橋 諭子（大沼ふるさとの森自然学校ディレクター）

高野 克也（NPO法人ねおすディレクター）

○プログラム中の連絡先：大沼ふるさとの森自然学校 亀田郡七飯町字東大沼294-1 TEL:0138-67-3777

○地元医療機関

・大沼公園クリニック 亀田郡七飯町字大沼町258 TEL:0138-67-3032

・あぜ（野畔）の花クリニック 亀田郡七飯町字大沼町322-3 TEL:0138-67-5111

・はるこどもクリニック小児科・小児神経科 北海道亀田郡七飯町本町6丁目7-42 TEL:0138-65-0500

・函館市夜間急病センター 函館市白鳥町13-32 TEL:0138-30-1199

運営体制について

ディレクター（3名）の下、ボランティアの方々と協力して子どもたちの活動をサポートします。安全管理や体調管理の都合、選択プログラムの定員等の関係から、現場にあわせたグループを作ることもあります。基本的には「全員で全員を見守る」という姿勢で子どもたちと過ごします。

部屋割り・グループ編成について

新しい友だちを作るというのも大切な活動の一つですので部屋割り・グループ編成はこちらにお任せください（期間途中にお部屋割を替える事もあります）。既存の子どもたちの関係性に固執せず、新しい環境ではじめて会った仲間と人間関係を築くことは、お子さんにとってリフレッシュを促すよい方法の一つです。趣旨をご理解いただきご協力のほどお願いいたします。

6. 往路の移動について

【集合時間】郡山駅 9:45受付開始、10:17出発 福島駅 10:00受付開始 10:33出発

【交通経路と時間】

郡山（10:17発）・福島（10:33発）⇒やまびこ129⇒仙台（11:00着）（11:08発）⇒はやぶさ11⇒新青森（12:35着）（12:46発）⇒スーパー白鳥11⇒函館（14:58着）

※参加人数やJRの予約状況によって列車の変更などが出る場合がございます。変更になり次第保護者の皆様へご連絡致します。

【想定移動時間】8時間半ほど

内訳：福島市から郡山市を経由して、函館駅へ、JR函館駅からネイパル森・まで1時間
【現地到着予定時間】 16:30
【到着場所】 ネイパル森 北海道茅部郡森町駒ヶ岳657-15 TEL : 01374-5-2110

乗車前の注意事項

- ◇ 集合前にトイレを済ませておいて下さい。くれぐれも遅刻の無いよう時間に余裕を持ってお出かけ下さい。
- ◇ スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。
- ◇ 受付開始時刻にあわせて名前のチェックを終えてください。
- ※ 多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。
- ◇ 手荷物は車内に持ち込む荷物デイパック(お弁当、水筒、保険証のコピー、衛生用品)程度にしましょう。
- ◇ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。
- ◇ 座席は指定席です。スタッフが号車と座席のおよその場所を示しますので、スタッフの指示に従って列車に順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。乗り込んだ後に席を決めます。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂くか、もしくは、引率責任者柴田(090-8344-9090)までご連絡ください。

7. 復路の移動について

【解散予定時間】 福島駅 17:00着 郡山駅 17:14着

流山温泉(8:49発)⇒函館(12:04発)⇒スーパー白鳥24⇒新青森(14:23着) (14:38発)⇒はやぶさ24⇒仙台(16:29着) (16:34発)⇒やまびこ148⇒福島(17:00着)・郡山(17:14着)

※参加人数やJRの予約状況によって列車の変更などが出る場合がございます。変更になり次第保護者の皆様へご連絡致します。

【想定移動時間】8時間半ほど 内訳：流山温泉からJRで函館駅へ、函館からJRで移動

解散について

- ◇ スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。
- ※ **お迎えが保護者以外の方(友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず引率者柴田(090-8344-9090)までご連絡を下さい。**

8. 持ち物

■大荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	旅行用かばん(移動が多々あります。段ボール、衣装ケースは不可)
<input type="checkbox"/>	着替え(長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下・靴下・下着・Tシャツなど)
<input type="checkbox"/>	防寒着(分厚いセーター・フリースは必ず1枚は入れてください。)
<input type="checkbox"/>	洗面・歯磨き用具、シャンプー、リンス(ネイパル宿泊2日分)
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚～3枚
<input type="checkbox"/>	バスタオル1枚
<input type="checkbox"/>	雪遊び用防寒手袋(防寒用ゴム手袋が最適) ※ 濡れた時の予備も含めて必ず2つお持ちください。
<input type="checkbox"/>	防寒具(毛糸の帽子、ネックウォーマーなど)
<input type="checkbox"/>	スキーウェア上下(防水防寒機能のある服) ※ 朝夕は0度を下回る場合もあります。
<input type="checkbox"/>	冬用長靴又はスノーシューズ
<input type="checkbox"/>	スキー用ゴーグル(雪遊びの時に使います。必須ではありません、ある方のみお持ちください)
<input type="checkbox"/>	寝る時に着るもの(パジャマなど)

<input type="checkbox"/>	うがい用コップ(プラスチックのもの・歯磨き用とは別のもの)
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット (自分のものを入れて洗濯します、大きめなものを2つ以上ご用意ください)
<input type="checkbox"/>	針金ハンガー5～10本(タオルやTシャツを干します ビニールテープ等を工夫して巻いて名前を書く とよいです)
<input type="checkbox"/>	ピンチハンガー1個(靴下やパンツを干します)
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(レジ袋)4から5枚程度
<input type="checkbox"/>	スパッツ(脚絆があると靴に雪が入らず長く外であそべます)
<input type="checkbox"/>	懐中電灯またはヘッドランプ (予備電池)
<input type="checkbox"/>	ホッカイロなど
<input type="checkbox"/>	冬休みの課題学習(必要であれば)
<input type="checkbox"/>	2泊3日程度の着替えが入るサブザック。フィールドトリップや合宿・民泊時に使用します。 (当日手荷物用のサブザックと併用でかまいません)
<input type="checkbox"/>	上靴

※ 着替えは1週間分用意ください。

※ 洗濯は期間中1回程度実施します。

■当日手荷物用・サブザック(リュックサックが望ましい)

<input type="checkbox"/>	初日昼食のおにぎり弁当!! (捨てられる容器でお持ちください)
<input type="checkbox"/>	水筒(温かいお茶が入るもの。ペットボトルは不可)
<input type="checkbox"/>	おやつ(往路の列車内で食べきれる量だけお持ちください) 宿泊施設などで個人のおやつは食べません。
<input type="checkbox"/>	保険証写し・子ども医療費受給資格者証コピー (封筒に入れ『お子さんの名前』と『保険証在中』を封筒に記入し封をしてください、ご兄弟で参加の 場合はそれぞれ別でおもたせください。)
<input type="checkbox"/>	列車内を楽しく過ごせるアイテム(トランプやUNOなど、対戦型トレーディングカードゲームはご遠慮 ください)
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	持病薬、持病処置の資料 (必要があれば) 薬のある方は、処方箋の仕方と薬を一緒に袋に入れてください。必ず名前を書いてください。
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
<input type="checkbox"/>	財布(小遣い3,000～5,000円程度) (各自の管理となりますが、必要に応じてスタッフが管理する場合があります。おみやげ以外でもフ ィールドトリップなどで使用します)
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします(貴重品の紛失や破損の責任は負いません)	

■大荷物の送り先について

ネイパル森 北海道茅部郡森町駒ヶ岳657-15 TEL:01374-5-2110

※配送業者に荷物の到着日を「3月23日(月)必着」とご指定ください。

※配送は「ヤマト運輸・往復宅急便」をお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。
他の運送業者では集荷が無い場合がございますのでご協力お願いいたします。

※伝票には、保護者の方の名前のなほに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。

北海道 大沼B 牧場暮らしコースについて

1. 開催日:3月24日(火)～4月2日(木) (9泊10日)※全日程参加が条件

2. 参加対象者:小学校1年生～中学3年生 定員10名

3. プログラム内容

馬と共に暮らす牧場暮らしを体験するプログラムです。

このプログラムは、毎朝動物たちに餌を与えるところからはじまります。

牧場には馬や、山羊、うさぎ、猫、犬などたくさんの生き物が暮らしています。

その中でも、特に馬との関係を深め、自分の担当馬を持ち、その馬の命を守っていくことを目標に10日間活動していきたいと思います。

活動の基本構造は、午前中の活動と午後の活動の2つから来ています。

午前中は馬を中心とした活動で、お手入れや、馬小屋の掃除、そして馬と共に森の中へと出かけていきます。

そして、クライマックスの森の中でのキャンプに向けて必要な森の恵みを採集したり、火おこしなどのキャンプに必要な技術の一つずつ身に付けたりして過ごします。

これら一連の活動は、馬の命を守る活動です。

毎日のお世話や、実際に触れ合い、馬の体温や鼓動、匂い、動きなど様々なことを感じ、体験することによって、馬との信頼関係を深めていきます。

午後は、比較的自由にゆっくりとした時間を過ごします。

森で採ってきたものの作り物や、動物たちの家を直したり作ったり、焚き火をしたり、お料理をしたり、木に登ったり、釣りをしたり、子ヤギが生まれたら乳搾りをしたり、お出かけしたり、昼寝したり、その都度話し合っ決めていきます。

私たちの命は、様々な命との繋がりの中で輝きを持ちます。

命の繋がりや、命を慈しむ事によって生まれます。

この牧場暮らしは、人が人として生きていく上で基礎となる命の輝きに注目した活動を提供します。

子どもたちの豊かな成長がこの牧場暮らしにあります。

みなさんの参加をお待ちしています。

日付		内容	備考
3月24日	火	福島よりJR移動 大沼に到着	体・心の緊張をほぐします。 ◆大沼流山牧場宿泊
3月25日	水	牧場暮らし／体験活動	◆大沼流山牧場宿泊
3月26日	木	牧場暮らし／体験活動	◆大沼流山牧場宿泊
3月27日	金	牧場暮らし／体験活動	◆大沼流山牧場宿泊
3月28日	土	牧場暮らし／体験活動	◆大沼流山牧場宿泊

3月29日	日	牧場暮らし／体験活動	◆大沼流山牧場宿泊
3月30日	月	牧場暮らし／体験活動	◆大沼流山牧場宿泊
3月31日	火	牧場暮らし／チャレンジキャンプ	◆テント泊
4月1日	水	牧場暮らし／さよならパーティー	◆大沼流山牧場宿泊
4月2日	木	大沼よりJR移動 福島に到着	

※毎日掃除、健康調査を行います。

※入浴は流山温泉を利用します。

※宿泊は牧場にあるログハウスです。部屋は男女別相部屋で、布団で寝ます。

※荒天時や積雪状況によってプログラム内容は変更となります、ご了承ください。

プログラムの補足

餌やりや掃除など、毎日同じ仕事をくり返し行い、ルーティンワークを積み重ねていきます。

毎日同じ仕事を行います、馬の体調や機嫌は毎日変わります。

毎日の暮らしの中で、色々な変化に気づき、命により添う活動を目指します。

私たちの命は、様々な命との繋がりの中で輝きを持ちます。

命の繋がり、命を慈しむ事によって生まれます。

この牧場暮らしは、人が人として生きていく上で基礎となる命の輝きに注目した活動を提供します。

子どもたちの豊かな成長がこの牧場暮らしにあります。

具体的な内容

- ・ 大きなログハウスでの宿泊
- ・ 動物たち(馬や山羊、うさぎ、ねこ、犬など)のえさやり
- ・ 馬のお世話(馬小屋掃除、お手入れ)や乗馬、馬と一緒に森へ
- ・ キャンプ
- ・ 雪遊び
- ・ 焚き火
- ・ 手仕事(染め物、おやつ作り、創作活動、林業体験、大工仕事など)
- ・ 周辺探検やお散歩
- ・ 昼寝

プログラム中の生活について

牧場の生活は馬や自然のリズムに合わせて動きます。

朝のえさやり、昼のえさやり、夕方のえさやりと、時間の決まった毎日のお仕事があるので、大人が色々指示をしなくても子どもたちが自分で気付いて行動するようになります。

生活のリズムも、初めは緊張や不安があり、眠れなかったりご飯がいつも通り食べられなかったりということがあってもかもしれませんが、段々と自然のリズムと身体の歩調が合ってきて、昼間思い切り活動して夜はほどよく

疲れて眠れるようになります。

おいしいご飯と十分な睡眠と規則正しい生活リズムで健康的な暮らしを送ります。

基本的な生活スタイル

06:30 起床

07:00 馬の朝ご飯

07:30 人の朝ご飯

09:00 牧場での馬のお世話、馬と森へのお出かけなど

12:00 馬のお昼ご飯→人のお昼ご飯

14:00 午後の体験活動

(物作り、昼寝、おやつ作り、雪遊び、染め物、創作活動、林業体験、大工仕事、牧場外へお出かけなどなど)

16:00 馬の晩ご飯

16:30 入浴

18:00 人の晩ご飯

21:00 消灯

4. 宿泊場所

大沼流山牧場 北海道亀田郡七飯町字東大沼 294-1 TEL:0138-67-3339

5. 運営体制

団体名:(株)流山 大沼流山牧場

所在地:〒041-1351 北海道亀田郡七飯町字東大沼294-1

連絡先:TEL: 0138-67-3339 FAX:0138-83-1215

○総責任者:上田 融(NPO法人ねおす)

○連絡先事務局:北川 浩二(大沼流山牧場)

○安全管理責任者:渡部 真子(大沼流山牧場)

○プログラム中の連絡先:

(株)流山 大沼流山牧場 亀田郡七飯町字東大沼 294-1 TEL:0138-67-3339

○地元医療機関

・大沼公園クリニック 亀田郡七飯町字大沼町258 TEL:0138-67-3032

・あぜ(野畔)の花クリニック 亀田郡七飯町字大沼町322-3 TEL:0138-67-5111

・はるこどもクリニック小児科・小児神経科

北海道亀田郡七飯町本町6丁目7-42 TEL:0138-65-0500

・函館市夜間急病センター 函館市白鳥町 13-32 TEL: 0138-30-1199

運営体制について

- ・ スタッフとボランティア 4~5 名が子ども達と過ごします。
- ・ 大沼 A コースと同じ敷地内にある牧場での活動となり、一部一緒に活動することがあります。
- ・ 食事は基本的に大沼 A コースと一緒にとります。

- ・ 並行して「牧場暮らしキャンプ」を一般募集にて実施しており、その参加者(小1～中3、最大10名程度)と活動を共にします。

部屋割り・グループ編成について

期間中ずっとお世話をする担当馬を決めて、馬一頭につき5～6名のグループを作って活動します。

宿泊場所はログハウスの大部屋です。男女別に一部屋ずつに泊まります。

6. 往路の移動について

【集合時間】郡山駅 9:45受付開始、10:17出発 福島駅 10:00受付開始 10:33出発

【交通経路と時間】

郡山(10:17発)・福島(10:33発)⇒やまびこ129⇒仙台(11:00着)(11:08発)⇒はやぶさ11⇒新青森(12:35着)(12:46発)⇒スーパー白鳥11⇒函館(14:58着)

※参加人数やJRの予約状況によって列車の変更などが出る場合がございます。変更になり次第保護者の皆様へご連絡致します。

【想定移動時間】8時間半ほど

内訳:福島市から郡山市を經由して、函館駅へ、JR函館駅から1時間

【現地到着予定時間】16:30

【到着場所】大沼流山牧場 北海道亀田郡七飯町字東大沼 294-1 TEL:0138-67-3339

乗車前の注意事項

- ◇ 集合前にトイレを済ませておいて下さい。くれぐれも遅刻の無いよう時間に余裕を持ってお出かけ下さい。
- ◇ スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。
- ◇ 受付開始時刻にあわせて名前のチェックを終えてください。
※多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。
- ◇ 手荷物は車内に持ち込む荷物デイバック(お弁当、水筒、保険証のコピー、衛生用品)程度にしましょう。
- ◇ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。
- ◇ 座席は指定席です。スタッフが号車と座席のおよその場所を示しますので、スタッフの指示に従って列車に順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。乗り込んだ後に席を決めます。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂くか、もしくは、引率責任者柴田(090-8344-9090)までご連絡ください。

7. 復路の移動について

【解散予定時間】福島駅 17:00着 郡山駅 17:14着

流山温泉(8:49発)⇒函館(12:04発)⇒スーパー白鳥24⇒新青森(14:23着)(14:38発)⇒はやぶさ24⇒仙台(16:29着)(16:34発)⇒やまびこ148⇒福島(17:00着)・郡山(17:14着)

※参加人数やJRの予約状況によって列車の変更などが出る場合がございます。変更になり次第保護者の皆様へご連絡致します。

【想定移動時間】8時間半ほど 内訳:流山温泉からJRで函館駅へ、函館からJRで移動

解散について

☆ スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※ お迎えが保護者以外の方(友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず引率者柴田(090-8344-9090)までご連絡を下さい。

8. 持ち物

■大荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	旅行用かばん
<input type="checkbox"/>	着替え(長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下・靴下・下着・Tシャツなど) ※指先が冷えやすいので、厚手の防寒靴下がお勧めです。
<input type="checkbox"/>	防寒着(分厚いセーター・フリースは必ず1枚は入れてください。)
<input type="checkbox"/>	洗面・歯磨き用具
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚～3枚
<input type="checkbox"/>	バスタオル1枚
<input type="checkbox"/>	馬の活動や雪遊び用防寒手袋 ※濡れた時の予備も含めて必ず2つお持ちください
<input type="checkbox"/>	毛糸の帽子、ネックウォーマー、耳当て(イヤーマフ) ※厚手の毛糸の帽子だと、乗馬用ヘルメットを被る時に脱ぐ必要があります。その場合に耳を防寒するために、耳当てが便利です。特に、頭の後ろから回すタイプのものが使いやすいです。
<input type="checkbox"/>	スキーウェア上下(防水防寒機能のある服) ※朝夕は0度を下回る場合もあります。
<input type="checkbox"/>	冬用長靴(スノーシューズよりも、長靴の方がお勧めです)
<input type="checkbox"/>	スキー用ゴーグル(雪遊びの時に使います。必須ではありません、ある方のみお持ちください)
<input type="checkbox"/>	寝る時に着るもの(パジャマなど)
<input type="checkbox"/>	うがい用コップ(プラスチックのもの・歯磨き用とは別のもの)
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット(自分のものを入れて洗濯します、大きめなものを2つ以上ご用意ください)
<input type="checkbox"/>	針金ハンガー5～10本(タオルやTシャツを干します ビニールテープ等を工夫して巻いて名前を書く とよいです)
<input type="checkbox"/>	ピンチハンガー1個(靴下やパンツを干します)
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(レジ袋)4から5枚程度
<input type="checkbox"/>	スパッツ(脚絆があると靴に雪が入らず長く外であそべます)
<input type="checkbox"/>	懐中電灯またはヘッドランプ(予備電池)
<input type="checkbox"/>	カイロ(足先が冷えやすいので、靴用のがあると便利です)
<input type="checkbox"/>	冬休みの課題学習(必要であれば)

※ 着替えは1週間分用意ください。

※ 洗濯は期間中1回程度実施します。

■当日手荷物用・サブザック(リュックサックが望ましい)

<input type="checkbox"/>	初日昼食のおにぎり弁当！！(捨てられる容器でお持ちください)
<input type="checkbox"/>	水筒(温かいお茶が入るもの。ペットボトルは不可)
<input type="checkbox"/>	おやつ(往路の列車内で食べきれる量だけお持ちください) 宿泊施設などで個人のおやつは食べません。
<input type="checkbox"/>	保険証写し・子ども医療費受給資格者証コピー (封筒に入れ『お子さんの名前』と『保険証在中』を封筒に記入し封をしてください、ご兄弟で参加の場合はそれぞれ別でおもたせください。)
<input type="checkbox"/>	列車内を楽しく過ごせるアイテム(トランプやUNOなど、対戦型トレーディングカードゲームはご遠慮ください)
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	持病薬、持病処置の資料(必要があれば) 薬のある方は、処方の方と薬を一緒に袋に入れてください。必ず名前を書いてください。
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
<input type="checkbox"/>	財布(小遣い 3,000～5,000 円程度) (各自の管理となりますが、必要に応じてスタッフが管理する場合があります。)
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします(貴重品の紛失や破損の責任は負いません)	

■大荷物の送り先について

大沼流山牧場 北海道亀田郡七飯町字東大沼294-1 TEL:0138-67-3339

※配送業者に荷物の到着日を「3月23日(月)必着」とご指定ください。

※配送は「ヤマト運輸・往復宅急便」でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。

他の運送業者では集荷が無い場合がございますのでご協力お願いいたします。

※伝票には、保護者の方の名前のならびに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。

北海道 ゆうばりコースについて

1. 3月24日(火)～4月2日(木) (9泊10日) ※全日程参加が条件

2. 参加対象者: 小学3年生～中学生

3. プログラム内容

10日間のゆうばりコースの活動場所は北海道三笠市です。皆さんが来る3月の積雪は1m以上！基地つくりやスノーホッケー、アイスクリームつくりや雪あかりつくりなど、雪を使った様々な活動を楽しむことができます。また、外遊びばかりではなく染物にも挑戦し、後半の2泊3日はネイパル深川(旧北海道青年の家)へ出かけ、室内でカーリングや高さ11メートルのクライミングもやってみます。「お楽しみ見学」で行く旭山動物園や旭川の銘菓「蔵生」の釜蒸し蔵工房の見学も楽しみです。

宿泊は暖房の利いた施設です。地元の小中学生も合流し一緒に過ごしなが、ひとまわり成長した姿でふくしまに帰りましょう！

☆事前準備からブログアップ始めますのでおたのしみに(<http://yubari.naturum.ne.jp/>)☆

日にち	内 容	備考
3月24日	火	郡山・福島より JR で移動
3月25日	水	◆三笠の施設到着 宿泊
3月26日	木	ネーム作り・友達作り・雪遊び・夕食炊事、勉強タイム
3月27日	金	新しい友達を作ろう。雪で自分たちの基地づくり！
3月28日	土	雪遊び、環境教育、自由時間、夕食炊事、勉強タイム
3月29日	日	雪でアイスを作ろう！キャンドルつくりにも挑戦します！
3月30日	月	自由時間、スノーキャンドルつくり、環境教育、夕食炊事、勉強タイム
3月31日	火	雪でキャンドルを作って点灯してみよう！自由時間は雪でいっぱい遊ぼう！
4月1日	水	ネイパル深川に移動、環境教育、フロアカーリング、勉強、クライミング
4月2日	木	室内でカーリングをして遊ぼう！11mの高さの壁を登ろう！
4月3日	金	自由時間、キンボール、環境教育、動物園計画
4月4日	土	1m位の大きなボールで遊ぶよ！明日の見学のための計画も立てよう！
4月5日	日	ネイパル深川出発、旭山動物園と蔵生見学、三笠の施設に帰宅
4月6日	月	動物の動きを観察しよう！家族や友達のためにお土産を買おう！
4月7日	火	春の運動会、自由時間、夕食炊事、勉強タイム
4月8日	水	スノーホッケーで運動会をします！
4月9日	木	自由時間、染物をしよう、ふりかえり、終了式
4月10日	金	最後の日を満喫しよう！
4月11日	土	朝起きたらバスに乗り JR で福島・郡山へ

※ 荒天時や積雪状況によってプログラム内容は変更となります、ご了承ください。

プログラムの補足

- ・三笠市を中心として各地域の自然素材を活用した体験活動を行います。
- ・子どもたちは身の回りの事は、できる限り自分でしていただきます。学生ボランティアは基本的には見守り、必要に応じて補助をします。

具体的な内容

集団宿泊体験／男女1部屋ずつで寝袋での宿泊 集団での食事 身の回りの整理、片付け、洗濯
自然体験／雪を使ったプログラム 環境教育(動物や雪について遊びながら学びます)、
夕食炊事／自分たちで北海道ならではの食事を班ごとに作ってもらいます。

プログラム中の生活について

子どもが子どもらしく伸び伸び過ごし、互いに協力し合い、楽しく生活を創りあげ、自分の事は自分でできるように努力していきましょう。

基本的な生活スタイル

6:30 起床
7:00 片付け、掃除
8:00 朝食
9:00 午前の活動
12:00 昼食
13:00 午後の活動
16:00 夕食作り
18:00 勉強タイム
19:00 シャワー、健康調査
21:00 就寝 スタッフ会議

片付けをする時間、掃除をする時間など、十分に持つようにします。このような活動には学生ボランティアが常に共有しますので、ご安心ください。

4. 宿泊場所

北海道教育大学岩見沢校 幌内自然体験学習研究施設
北海道三笠市幌内北星町 346 番地 TEL : 01267-2-3344

5. 運営体制

◇団体名:NPO 法人ねおす

所在地:北海道札幌市中央区南 3 条西 17 丁目 291-227 すずかけビル 3F

◇団体名:ゆうばりネイチャーキッズクラブ

所在地:北海道夕張市紅葉山 578-2

連絡先:TEL:090-3770-4314 URL:<http://yubari.naturum.ne.jp>

○総責任者:上田 融(NPO法人ねおす)

○連絡先事務局:荒井 洋一(NPO法人ねおす:080-3262-9325)

○プログラム責任者、安全管理責任者:能條 歩

(北海道教育大学、NPO法人北海道自然体験活動サポートセンター)

○プログラムコーディネーター:多々見 ゆりか

(北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川、NPO法人北海道自然体験活動サポートセンター)

○プログラム中の連絡先: NPO 法人北海道自然体験活動サポートセンター TEL:090-3770-4314

○地元医療機関:三笠市総合病院(電話:01267-2-3131)

運営体制について

ディレクターの下、ボランティアの方々と協力して子どもたちの活動をサポートします。安全管理や体調管理の都合でグループを編成します。

部屋割り・グループ編成について

新しい友だちを作るといっても大切な活動の一つですのでグループ編成はこちらにお任せください。趣旨をご理解いただきご協力のほどお願いいたします。

6. 往路の移動について

【集合時間】郡山駅 9:45受付開始、10:17出発 福島駅 10:00受付開始 10:33出発

【交通経路と時間】

郡山(10:17発)・福島(10:33発)⇒やまびこ129⇒仙台(11:00着) (11:08発)⇒はやぶさ11⇒新青森(12:35着) (12:46発)⇒スーパー白鳥11⇒函館(14:58着) (15:13発)⇒スーパー北斗⇒南千歳(18:11着)

※参加人数やJRの予約状況によって列車の変更などが出る場合がございます。変更になり次第保護者の皆様へご連絡致します。

【想定移動時間】 10時間ほど

【現地到着予定時間】 20:00

【到着場所】 北海道教育大学岩見沢校 幌内自然体験学習研究施設

乗車前の注意事項

◇ 集合前にトイレを済ませておいて下さい。くれぐれも遅刻の無いよう時間に余裕を持ってお出かけ下さい。

- ◇ スタッフが郡山駅と福島駅の集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。
- ◇ 受付開始時刻にあわせて名前のチェックを終えてください。
※多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。
- ◇ 手荷物はデイパック(お弁当、飲み物、保険証のコピー、衛生用品)程度にしましょう。
- ◇ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。
- ◇ 座席は指定席です。スタッフが号車と座席のおよその場所を示しますので、スタッフの指示に従って列車に順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。乗り込んだ後に席を決めます。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂くか、もしくは、引率責任者能條(電話:090-3770-4314)までご連絡ください。

7. 復路の移動について

【解散予定時間】福島駅 17:00着 郡山駅 17:14着

南千歳(8:00発)⇒北斗4⇒函館(11:13着)(12:04発)⇒スーパー白鳥24⇒新青森(14:23着)(14:38発)⇒はやぶさ24⇒仙台(16:29着)(16:34発)⇒やまびこ148⇒福島(17:00着)・郡山(17:14着)

※参加人数やJRの予約状況によって列車の変更などが出る場合がございます。変更になり次第保護者の皆様へご連絡致します。

【想定移動時間】10時間ほど 内訳:三笠からバスで南千歳駅へ、南千歳からJRで

解散について

- ◇ スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方(友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず引率者(氏名・連絡先)までご連絡を下さい。

8. 持ち物

■大荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	9泊10日分の着替え(長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下・下着)※洗濯は適宜可能です。
<input type="checkbox"/>	フリースなどの防寒着(寒いので必ず持たせてください。)
<input type="checkbox"/>	バスタオル1~2枚
<input type="checkbox"/>	スポーツタオル、汗拭きタオル ※小さめのものを2~3枚
<input type="checkbox"/>	スキーウェア(カッパやウインドブレーカーでの代用不可)
<input type="checkbox"/>	スキーゴーグル(目の日焼けや怪我をしないように持っている方はお持ちください。)
<input type="checkbox"/>	帽子(冬用)、スキー用手袋、マフラーまたはネックウォーマー
<input type="checkbox"/>	洗面用具、石鹸、シャンプー、リンス
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット、洗濯バサミ、ハンガー (名前は大きめに見やすい場所にお書きください)
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(レジ袋)3~4枚程度
<input type="checkbox"/>	折りたたみ傘
<input type="checkbox"/>	懐中電灯(ヘッドランプが望ましいです。予備電池も持たせてください)
<input type="checkbox"/>	日焼け止め(雪で日焼けをします。必要に応じてお持ちください)
<input type="checkbox"/>	マイカップ(お茶など飲むときに使います。)
<input type="checkbox"/>	使い捨てカイロ
<input type="checkbox"/>	上靴
<input type="checkbox"/>	勉強道具、読書用の本

■当日手荷物用・サブザック(リュックサックが望ましい)

<input type="checkbox"/>	初日昼食のおにぎり弁当! 飲み物(ペットボトルで)
<input type="checkbox"/>	おやつ(往路の列車内で食べきれる量だけお持ちください) 宿泊施設などで個人のおやつは食べません。
<input type="checkbox"/>	保険証写し・子ども医療費受給資格者証コピー (封筒に入れ『お子さんの名前』と『保険証在中』を封筒に記入し封をしてください)

<input type="checkbox"/>	列車内を楽しく過ごせるアイテム(トランプやUNOなどの大人数で遊べるもの。対戦型トレーディングカードゲームはご遠慮ください)
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	持病薬、持病処置の資料 (必要があれば) 薬のある方は、処方の仕方と薬を一緒にの袋に入れてください。必ず名前を書いてください。
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
<input type="checkbox"/>	財布(小遣い 1,000～5,000 円程度) (各自の管理となりますが、必要に応じてスタッフが管理する場合があります。)
	ネームプレート(以前ゆうぱりプログラムに参加したことのある人は、自分で作った木の名札をもってきてください。今回の冬参加分のストーンが増えます。)
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします(貴重品の紛失や破損の責任は負いません)	

※水筒は必要ありません。常に水分補給が出来る環境が整っています。また、それ以上に飲み物が欲しい場合は必要に応じて飲み物を購入することが可能です。

■大荷物の送り先について

〒068-2143 北海道三笠市幌内北星町 346 番地 TEL:01267-2-3344
北海道教育大学 幌内自然体験学習研究施設

※配送業者に荷物の到着日を「3月24日(火)必着」とご指定ください。これ以前はスタッフ不在のため受け取りができません。

※配送は「ヤマト運輸・往復宅急便」でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。

他の運送業者では集荷が無い場合がございますのでご協力お願いいたします。

※伝票には、保護者の方の名前のなかに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。

9. その他の注意点

☆朝晩は冷え込むので、長袖で上から羽織るもの(フリースなど)が必要です。

☆外での活動中は冬用の帽子(保温性のあるもの、耳が隠れるもの)着用を原則とします。

☆雪でも日焼けをするので、必要に応じて日焼け止めクリームの準備をお願いいたします。

☆長靴はこちらから貸出をいたします。参加申し込みの時にサイズをご記入ください。

☆スキーウェアを用意できない場合は、貸し出しが可能です。希望者は説明会で担当者に申込用紙を提出頂くか、電子メールでお申し込みください。(h.nesc@yahoo.co.jp) 記載事項は、名前、普段着ている服のサイズと身長・体重です。貸出の申し込み締切は 3 月 10 日 24 時といたします。



あぶくまプログラム

1. 開催日:

- ① 3月24日(火)～3月27日(金) (3泊4日)
- ② 3月28日(土)～3月31日(火) (3泊4日)
- ③ 4月1日(水)～4月4日(土) (3泊4日)

2. 参加対象: 小学1年生～中学生

3. プログラム内容

田舎での日々の暮らしをベースに、動物の世話などを行いながら共同生活を送ることで、生活の基本や他人との関わりを学んでいきます。午前は勉強と自由遊び、午後は、みんなで決めた全体プログラムを行います。

特 長

- ◇ イベント的なプログラムはほとんどありません。
- ◇ 規則正しい生活習慣など、共同生活のなかで大切なことを学びます。
- ◇ 基本的な生活を通して、子どもたちの自主性、協調性、少しの我慢の力を伸ばします。
- ◇ のびのびじっくり、時間に追われることなく、みんなで楽しく活動しながら体力向上を目指します。
- ◇ 各地の活動プログラムに参加できるだけの、基本的な自立・自己管理能力などを育成します。
- ◇ 家族で考えた約束の色紙※を掲示して、意識の向上や家族の絆の実感をはかります。

※お子さまが、参加期間中に達成したいことや、普段からできるようになりたいと思っていることなどを、家族で相談して決めて、色紙に書いてご持参ください。期間中に掲示します。このプログラムに参加することで約束の内容を達成できるように応援し、また、期間中に家を離れて過ごすなかでも、家族の存在をともに感じられるようにしたいと考えています。

内容(予定)

	初日	滞在日	帰宅日
午前	10:00～10:30 集合 10:30 オリエンテーション	7:00 起床 8:00 朝食 9:00 勉強 10:00 自由遊び	7:00 起床 8:00 朝食 9:00 荷物の整理整頓・掃除 10:30 自由遊び
午後	12:00 昼食 13:00 自由遊び 15:00 おやつ休憩 16:30 夕食支度、犬散歩など	12:00 昼食 13:00 全体活動 15:00 おやつ休憩 16:30 夕食支度、犬散歩など	12:00 昼食 13:00 振り返りレポート記入、終わりの会 14:30 解散、お迎え
夜	18:00 夕食 19:00 入浴、日記記入、 子ども会議など 21:00 就寝	18:00 夕食 19:00 入浴、日記記入、 子ども会議など 21:00 就寝	

〔活動ラインナップ〕・野山遊び ・小川遊び ・工作 ・ウォールクライミング ・ツリークライミング ・サッカー、キャッチボール、バスケットボール ・薪割り ・プロジェクトアドベンチャー ・屋内ゲーム ・犬の散歩 ・コワリとヤギの世話 ・農作業 ・火おこし ・食事作り ・星空鑑賞 ・屋内プール ・体育館

※ 毎日の仕事を役割分担します。仕事内容: 日直、食事係、動物の世話、体操係、など

※ 具体的な活動の様子は、これまでの「活動のようす」ブログのあぶくまプログラム記事をぜひご覧ください！

4. 子どもたちの主な活動・宿泊場所

体験民宿WARERA元気倶楽部 田舎体験の家(あぶくまエヌエスネットのフィールド)
〒963-8403 福島県東白川郡鮫川村赤坂東野字葉貫57
ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~abukuma/> 電話 0247-48-2508

5. 運営体制

団体名: 特定非営利活動法人 あぶくまエヌエスネット

所在地: 上述

連絡先: [電話]0247-48-2508 [FAX]050-3730-7788 [Eメール]abukuma@basil.ocn.ne.jp

総責任者、プログラム責任者: 進士徹

連絡先事務局、安全管理責任者: 伊藤千陽

プログラム中の連絡先: 上述のあぶくまエヌエスネット電話番号

医療体制: 地元医療機関

・塙町厚生病院 福島県東白川郡塙町大町1-5 電話0247-43-1145

・和田医院 福島県東白川郡棚倉町城跡3-1 電話0247-33-2012

部屋割り・グループ編成について

新しい友達を作ること大切に行っている活動のひとつです。部屋割りはスタッフにお任せください。ご希望がある場合にはできる範囲で考慮しますので、お気軽にお申し出ください。活動時のグループ編成などは子どもたちの自主性を尊重します。なお、子どもには24時間スタッフが付き、活動を共にします。

6. 往路の移動について

保護者の方に、現地までのお子さまの送迎をお願いします。

【集合時間】

①コース: 3月24日(火)午前10時30分まで

②コース: 3月28日(土)午前10時30分まで

③コース: 4月1日(水)午前10時30分まで

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、あぶくまエヌエスネット電話番号(上述)までご連絡ください。

7. 復路の移動について

保護者の方に、現地までのお子さまの送迎をお願いします。

【解散予定時間】

①コース: 3月27日(金)午後14時30分

②コース: 3月31日(火)午後14時30分

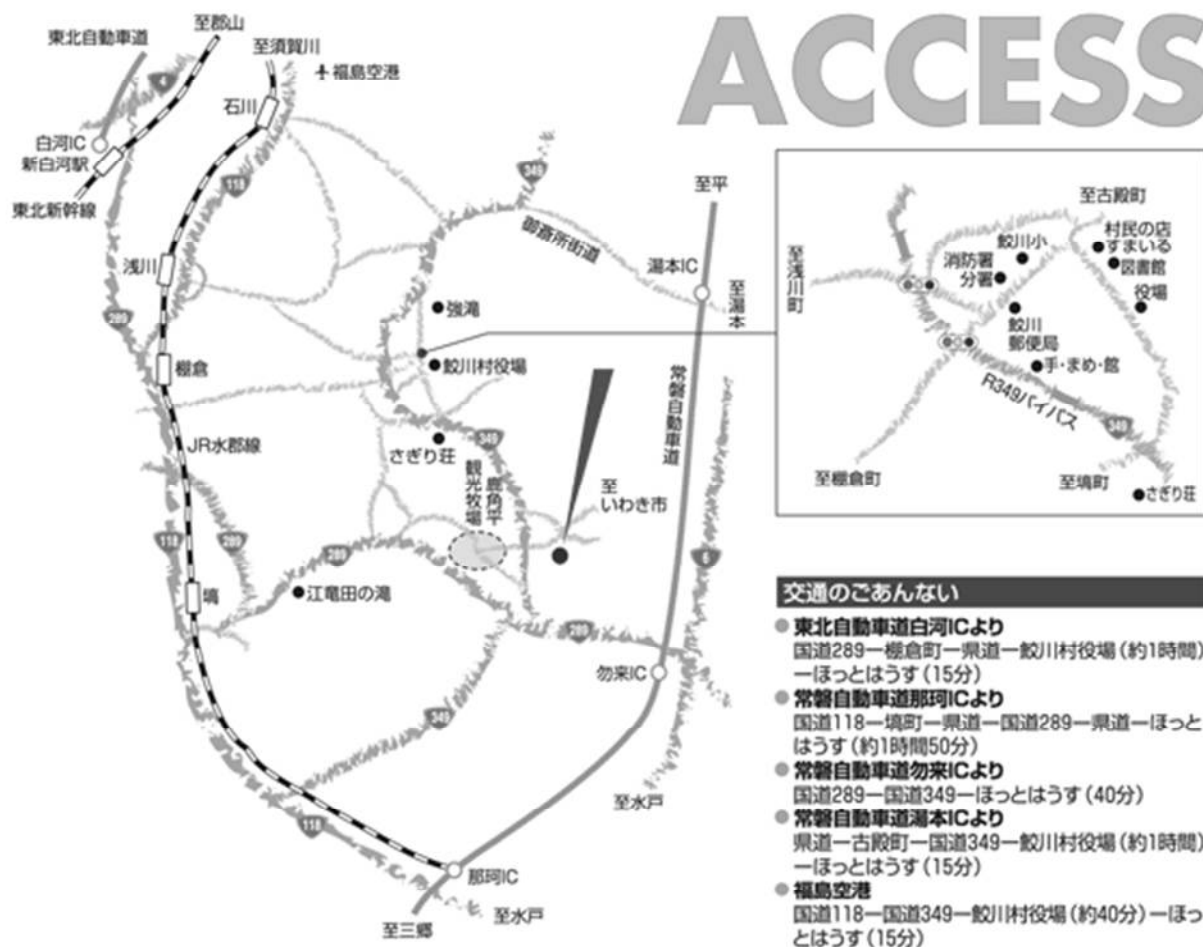
③コース: 4月4日(土)午後14時30分

〔あぶくまエヌエスネットまでのアクセス〕

・郡山市から 国道4号線→国道118号線→国道349号線

・いわき市勿来から 勿来IC→国道289号線→国道349号線

※ ナビ入力では、鮫川村の宿泊施設「ほっとはうす・さめがわ」(TEL 0247-48-2555)が便利です。ただし、「ほっとはうす・さめがわ」は当団体とは別施設であり、駐車不可。



8. 持ち物について

保護者がすべて準備するのではなく、子ども自身が必ず準備に関わるようにしましょう。

荷物にはすべて(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

■荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	かばん(ボストンバックやトランク等、大きく開くものが便利)
<input type="checkbox"/>	着替え泊数分(十分に暖かいもの、温度調整ができるもの)
<input type="checkbox"/>	防水防寒服上下
<input type="checkbox"/>	防水防寒手袋(濡れたときの予備を含めて2つあると良いです)
<input type="checkbox"/>	防寒具(毛糸の帽子、ネックウォーマー、レッグウォーマーなど)
<input type="checkbox"/>	タオル2~3枚(バスタオル含む。石鹸、シャンプー、リンスは不要)
<input type="checkbox"/>	歯磨きセット
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(レジ袋)3~4枚程度(防水。あるとなにかと便利です)
<input type="checkbox"/>	料理セット[エプロン、マスク、三角巾]
<input type="checkbox"/>	勉強セット、好きな本[ゲーム本や漫画本はNG]

<input type="checkbox"/>	筆記用具	初日の受付時にお預かりします
<input type="checkbox"/>	冬用長靴またはスノーシューズ	
<input type="checkbox"/>	プールセット(水着、ゴーグル、水泳帽、バスタオル)	
<input type="checkbox"/>	生理用品(必要であれば。活動中に初潮になる可能性がある場合もお持ちください)	
<input type="checkbox"/>	上履き(体育館やウォールクライミング用)	
<input type="checkbox"/>	保険証の写し	
<input type="checkbox"/>	お小遣い 1000 円程度	
<input type="checkbox"/>	マイお箸(ケースはいりません)	
<input type="checkbox"/>	マイコップ(割れるものは NG、プラスチック○)	
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ	
<input type="checkbox"/>	常備薬 (自己管理できる場合も必ず服用の方法を書いたものを用意してスタッフにお渡してください)	
<input type="checkbox"/>	おやつ 100 円程度分×3 日分 ※スタッフが管理します。1 つにまとめて記名しておいてください。	
<input type="checkbox"/>	家族約束を書いた色紙	

〔あると良いもの〕・雨着 ・スパッツ(足首カバー) ・使い捨てカイロ

〔不要なもの〕・水筒やペットボトル ・ゲーム機など一人遊び用品

※8 ページもご確認ください。ただし、「初日のお弁当」はあぶくまプログラムでは不要です。

9.その他の注意点

- ・ 貴重品の紛失や破損の責任は負いません。
- ・ 忘れものについて、活動終了後に連絡のあったものは着払いで郵送します。連絡のないものはひと月後に処分します。
- ・ 活動時期の気温:朝晩 3℃前後、日中 10℃前後
- ・ 空間線量:0.08~0.12 μ s 程度

飛騨高山プログラム

1. 開催日:3月25日(水)～4月3日(金) (9泊10日)

2. 参加対象者:小学校1年生～小学校6年生 ※全日程参加が条件

3. プログラム内容

『豊かな心で繋げよう未来に』～心おどる感動体験、心を繋ぐ交流～

飛騨高山プログラムでは、テーマ『豊かな心で繋げよう未来に』～心おどる感動体験、心を繋ぐ交流～ の達成に向け、東海地区でなければ体験できない活動を計画しています。

9泊10日の飛騨高山プログラムは、大きく3つのステージから成り立っています。

・第1ステージは、各務原市少年自然の家での2泊3日の体験活動です。

各務原市少年自然の家は、木曽川河畔にあり、対岸には国宝犬山城が見えます。桜がちらほら咲き始めた早春の濃尾平野で、野外炊事や野山での遊びを通して、福島仲間、ボランティアの大学生との和を深めます。

・第2ステージは、早春の飛騨高山での4泊5日の体験活動です。

高山市は飛騨の匠、高山祭りで有名ですが、リンゴや桃が栽培され、気候的には福島市、郡山市に似ています。

前半2泊は、高山市内で小学生がいる家庭でのホームステイです。高山の子ども達と兄弟のように寝食を共にし、遊びます。例年、福島子ども達が一番楽しんでいる活動です。また、福島と高山の保護者の方々双方の交流も生まれています。

後半2泊は、木立と川のせせらぎに囲まれた高山市内の民宿で過ごします。民宿を拠点とした体験活動を用意しています。飛騨高山ならではの人情、自然、郷土食を体験します。民宿では郷土食である朴葉味噌、五平餅や飛騨牛を味わうことになります。また、高山市内の小学生が、飛騨情緒豊かな古い町並み、高山祭りの屋台等、一日かけて案内してくれます。

・第3ステージは、桜が満開の名古屋市での3泊4日の体験活動です。

織田信長で有名な桶狭間の古戦場近くの名古屋市青少年宿泊センターをベースに、名古屋市内での体験活動です。市内の移動は、主に地下鉄を利用し都市生活を体験します。歴史と自然を名古屋城、東山動植物園、技術への挑戦と進歩をトヨタ自動車工場見学、リニア鉄道館、名古屋市科学館等で体験します。

また、芸術体験と熟議を計画しています。芸術体験では、子ども達が全身を使いふくしまの心を作品に表現します。熟議では、未来へ向け羽ばたく心を仲間と共有します。

最終日は、関ヶ原古戦場近くの垂井町へ移動し、満開の桜と川面にたなびく鯉のぼりを鑑賞し、垂井町の中学生達と遊び、リラックスした気持ちで福島へ帰ります。

明日の日本を担うふくしまの子ども達が、豊かな自然とのふれあい、温かい人々とのふれあい、活力ある社会とのふれあいを通して、未来へ立ち向かうことを願い、このプログラムを作成しました。

なお、子ども達と生活を共にするボランティアは、主に退職教員と大学生です。

日 程	午前中の活動	午後の活動	備 考
3月25日 (水)	福島、郡山出発、岐阜羽島経由 各務原市到着	各務原市少年自然の家 約束作り	各務原市少年自然の家
3月26日 (木)	自炊活動	里山探検:小川探検	各務原市少年自然の家
3月27日 (金)	ネイチャークラフト(スプーン作り)	各務原市～高山市へ移動(バス)	ホームステイ
3月28日 (土)	高山ライオンズクラブ主催の活動	ホームステイ先での活動	ホームステイ
3月29日 (日)	ホームステイ先での活動		民宿 朴葉荘
3月30日 (月)	飛騨高山の町散策:グループ別行動		民宿 朴葉荘

3月31日 (火)	高山～名古屋へ移動(バス)	トヨタ自動車工場見学	名古屋市青少年 宿泊センター
4月1日 (水)	名古屋城:能楽堂等	東山動植物園、リニア鉄道館、名古屋 市科学館(グループ別行動)	名古屋市青少年 宿泊センター
4月2日 (木)	熟議、遊び(大高緑地)	芸術体験	名古屋市青少年 宿泊センター
4月3日 (金)	花見と鯉のぼり、中学生との交流	岐阜羽島からふるさと福島、郡山へ	

プログラム中の生活について

子どもが子どもらしく伸び伸び過ごし、互いに協力し合い、楽しく生活を創りあげ、自分の事は自分でできるようにサポートして参ります。

飛騨高山プログラムでの約束は、現地(各務原市少年自然の家)に到着し、みんなで話し合って決めて行きます。

基本的な生活スタイル

7:00 起床

…寝具の始末、着替え、歯磨き、健康観察

8:00 朝食(協力して配膳、後片付け 諸連絡)

…生活の時間(身支度、清掃、洗濯など)

9:00 午前の活動(体験活動)

12:00 昼食(民宿または活動によって外食、弁当など)

13:00 午後の活動(体験活動)

17:00 振り返り活動(グループ毎に1日の活動や行動の振り返り)

18:00 夕食(協力して配膳、後片付け 諸連絡)

…生活の時間(入浴、休憩、清掃など)

20:00 自由時間、仲間や宿の人との交流、学習など

…学習の時間(学習室でボランティアが対応)

21:30 就寝 スタッフ会議

…寝具の用意、着替え、歯磨き、健康観察

身の整理や準備については、時間のゆとりを十分に持つようにします。また、このような活動には学生ボランティアが、支援にあたります。

4. 子どもたちの主な活動場所・宿泊場所

- ◇ 各務原市立少年自然の家: 〒509-0143 各務原市鵜沼小伊木町4丁目213 ☎ 058-370-5258
- ◇ 民宿 朴葉荘: 〒506-2115 岐阜県高山市丹生川町小野457-2 ☎ 0577-79-2523
- ◇ ホームステイ: 岐阜県高山市内の小学校の保護者
- ◇ 名古屋市青少年宿泊センター: 〒459-8001 愛知県名古屋市緑区大高町蝮池4-6 ☎ 052-624-4401

5. 運営の体制について

- 総責任者 本多 功(NPO法人教育支援協会東海代表)
- 連絡先事務局 名古屋市西区南川町297 ☎ 052-505-4900
- 現地担当者 高橋 忠明 ☎ 090-8557-6493
- 白井 幸子 ☎ 090-1472-0959
- メールアドレス takachu0328@yahoo.co.jp
- プログラム・安全管理責任者 本多 功(NPO法人教育支援協会東海代表)
- 鈴村仁孝(一般社団法人ふるさと体験飛騨高山事務局長)
- 引率責任者・カウンセリング 西尾 真由美(カウンセラー、スクールアドバイザー)
- ☎ 080-5130-2403

運営体制について

現地担当者が、子ども達の引率の責任者として動きます。

- ・ プログラムについての相談や依頼については、現地責任者へ遠慮無く連絡願います。急な連絡以外は、メールでお願いいたします。
- ・ 学生ボランティアへの指導、助言を行います。

学生ボランティアが、子ども達の生活や活動への補助に当たります。

- ・ 4～5名の子どもに、学生ボランティア1名を配置します。
- ・ 身辺整理や活動を共にします。

部屋割り・グループ編成、ホストファミリーについて

福島を離れ、初めての出会いを子ども達は経験します。共同で生活する仲間やボランティアの方々との出会い。新しい環境ではじめて会った仲間やホストファミリーとの人間関係を築くことは、お子さんにとって貴重な体験になり、生きる力となります。趣旨をご理解いただき、ご協力のほどお願いいたします。

部屋割りやグループ編成について

- ・ 新しい仲間、初めての新しい友達を作るチャンスです。
- ・ 部屋割り・グループ編成は、現地担当者が決定します。

ホームステイについて

- ・ ホストファミリーについては、高山市教育委員会、高山市小学校長会に依頼しています。
- ・ ホストファミリーは、高山市内の小学生の保護者家庭です。
 - ① ホストファミリー決定後は、双方の保護者で下記のような手順で連絡を取り合ってくださいことになります。現地担当者から、保護者の方へホストファミリーについての電話番号、メールアドレス、住所等の情報を伝えます。
 - ② 保護者の方は、電話又はメールでホストファミリーへホームステイの依頼をする。(手紙では遅くなりますので、まず電話かメールで依頼を行ってください。)
 - ③ ホームステイ終了後、ホストファミリーへお礼の連絡をして下さい。

医療機関について

高山市赤十字病院	高山市天満町3-11	☎ 0577-32-1111
東海中央病院	各務原市蘇原東島町4-6-2	☎ 058-382-3101
南生協病院	名古屋市緑区大高町平子36	☎ 052-625-0373

5. 移動について

往 路: JR 福島駅・郡山駅より、東京経由岐阜羽島駅まで新幹線で移動
岐阜羽島駅から各務原市少年自然の家までバスで移動
各務原市少年自然の家から、高山市内までバスで移動
復 路: 高山市内民宿から名古屋市青少年宿泊センターまでバスで移動
名古屋市青少年宿泊センターから岐阜羽島駅までバスで移動
岐阜羽島駅から東京経由JR郡山駅・福島駅まで新幹線で移動

6. 往路について

【集合場所、時間】 3月25日(水)

福島駅 8時00分 集合/受付開始 8時35分 発
郡山駅 8時15分 集合/受付開始 8時49分発(やまびこ124号)⇒東京駅(10時08分着)
東京駅(乗り換え移動25分) 10時33分発(ひかり509号)⇒岐阜羽島駅(12時29分着)

【到着場所】 各務原市立少年自然の家

【想定移動時間】 5時間ほど

【内訳】福島駅から岐阜羽島駅まで約4時間、岐阜羽島駅から各務原市少年自然の家まで約1時間

【現地到着予定時間】 13時30分頃

- ① 集合前にトイレを済ませておいて下さい。出発時刻の30分前に受け付けを開始します。くれぐれも遅刻の無いよう、時間に余裕を持ってお出かけ下さい。駅周辺はかなりの渋滞が予想されます。
- ② スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。
- ③ 出発時刻の15分前までに名前のチェックを終えてください。

- ※ 多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。
- ※ 当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方が来ていただくか、もしくは、引率責任者 西尾(080-383-1118)までご連絡ください。

乗車前の注意事項

- ☆ 手荷物は、車内に持ち込む荷物デイベック(お弁当、水筒、楽しく過ごせるアイテム、保険証のコピー、衛生用品)程度にしましょう。乗り換え(東京駅)移動があり、短時間で行う必要がありますので、安全面も配慮して両手が空くようなデイベックをお願いします。
- ☆ 乗り物酔いをしやすい方は、事前に酔い止めの薬をお飲みください。

座席について

新幹線の座席は、指定席です。新幹線の乗降は、スピーディーに行う必要があります。スタッフの指示に従って列車に順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。乗り込んだ後に席を決めます。

7. 復路について:4月1日JRダイヤ改正が予定されているため、列車時刻に変更の可能性有り

【解散場所/時間】 4月 3日(金)

岐阜羽島駅 14時14分発(ひかり552号)⇒東京駅 16時26分着

東京駅(乗り換え移動26分)16時36分発(やまびこ147号)⇒

郡山駅 18時00時 到着 解散

福島駅 18時13分 到着 解散

- ☆ 新幹線車内で軽食を用意します。

【想定移動時間】 5時間ほど

【内訳】 岐阜羽島駅までバス で約1時間 岐阜羽島駅から福島駅まで約4時間

解散のながれ

スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方(友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず、引率責任者 西尾(080-383-1118)までご連絡を下さい。

8. 持ち物について

■大荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)名前を記入するよう徹底願います。また、自分で出し入れや整頓ができるようにしておいてください。

<input type="checkbox"/>	旅行用かばん(移動が多々あります。福島との往復は宅急便を使用します。)
<input type="checkbox"/>	着替え(長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下・靴下・下着)※洗濯の設備はありません。
<input type="checkbox"/>	防寒着(分厚いセーター・フリースは必ず1枚は入れてください。)
<input type="checkbox"/>	洗面用具,シャンプー、リンス
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚~3枚
<input type="checkbox"/>	バスタオル1枚
<input type="checkbox"/>	防寒手袋
<input type="checkbox"/>	防寒具(毛糸の帽子、ネックウォーマーなど)
<input type="checkbox"/>	雨具(折り畳み傘または、雨合羽:簡易なもので)
<input type="checkbox"/>	軍手(自炊活動で使用します)
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(レジ袋)4から5枚程度
<input type="checkbox"/>	懐中電灯またはヘッドランプ (予備電池)
<input type="checkbox"/>	ホッカイロなど
<input type="checkbox"/>	春休みの課題学習(必要であれば)
<input type="checkbox"/>	上靴

■当日手荷物用・サブザック

<input type="checkbox"/>	初日昼食の弁当（新幹線の中で食べます。）
<input type="checkbox"/>	水筒（温かいお茶が入るもの。見学や散策の際に活用します。ペットボトルは不可）
<input type="checkbox"/>	保険証写し（封筒に入れてのりづけ、氏名を記載）
<input type="checkbox"/>	列車内を楽しく過ごせるアイテム
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	常備薬（必要な子）
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
<input type="checkbox"/>	財布（小遣い1,000～5,000円程度：高山市内散策、名古屋市判別行動） （各自の管理となりますが、必要に応じてスタッフが管理する場合があります。）
<input type="checkbox"/>	宅急便、着払い伝票（名古屋から自宅へ送る伝票です。）
<input type="checkbox"/>	しおり（説明会で渡したもの）
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします（貴重品の紛失や破損の責任は負いません。）	

■大荷物の往復について

往復とも宅急便でお願いします。

往：

1. 送り先住所
各務原市立少年自然の家
〒509-0143 各務原市鵜沼小伊木町4丁目213 ☎ 058-370-5258
2. 荷物の到着日：必ず指定してください。
3月25日（水）必着 12時から14時の時間指定
* 受入の関係がありますので、時間指定をお願いします。

復：

1. 大荷物を各家庭へ送る（復路）
名古屋市青少年宿泊センターから送ります。
2. 着払い伝票
記入の上、子どもに持参させてください。
※着払い伝票には、保護者の方の名前ならびに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください

金沢・白山麓プログラム

1. 開催日:3月25日(水)～4月1日(水)(7泊8日) ※全日程参加が条件

2. 参加対象者と人数:小学3年生～小学6年生 定員 26 名

3. プログラム内容

日本三名峰の白山(2,702m)の麓、自然豊かな白山麓で「早春のアクティビティ」を満喫し、金沢では、「歴史・文化・芸術」に触れるプログラムです。

白山麓での滞在中、前半の4泊は「石川県立・白山ろく少年自然の家」に滞在し、初めて出会う友達やスタッフ・ボランティア相談員の人たちと仲良くなることが出来るようゲームをしたり、規則正しい団体生活を通じて新しい仲間との協調性を育むことに重点を置きます。また早春の季節を満喫するフィールドワークやワークショップなども行います。

プログラムの中ほどでは、バスで金沢の街に出掛け日本三名園のひとつ「兼六園」、江戸時代には前田利家の居城でもあった加賀百万石の「金沢城」、現代アートを楽しめる「21 世紀美術館」などを巡り、歴史や文化に触れます。

後半の3泊は、より山間部に入り自然環境が豊かな「白山市吉野谷セミナーハウス」に泊まり、プログラム前半で仲良くなった友達やボランティア相談員と一緒に、集落全体を使って自由に一日遊んだり、自炊自活を中心とし自律した生活を身につける事を目指し、子ども達が仲間とともに自分たちで考え行動する活動を中心に行います。

また、今回はふくしまキッズの活動を日頃サポートしてくれている地元の農家にお邪魔し、農業体験や、いろいろなお手伝いなどを行い交流をします。

年により雪の状況が異なるため、雪がある場合は、滞在宿泊先の周辺で雪を使った遊びが可能ですが、雪が残っていない場合は、自然観察をしながらのハイキングやゲームなどを行うなど、天候や積雪、子どもたちの体調などの状況を見ながら臨機応変にプログラムを進行します。

☆テーマ 仲間と一緒に達成する喜びを知る。

相手の立場に立った思いやりの気持ちを大切にする。

お陰様とお互い様(感謝)の気持ちを持つ

成功体験を自分への自信につなげる

自由時間(自由あそび)の時間には、みんなひとりひとりのペースやその日の体調に合わせて過ごします。白山麓の早春の自然をリーダー達と一緒に思いっきり満喫してもいいし、新しい友達と遊んだり、お話をしてもいいし、ゆっくりのんびり自分のペースで本を読んだり宿題をして過ごしても OK です。何をして遊ぶか？どう楽しむか？は、相談員のお兄さんお姉さんと一緒に作戦会議を開いて、チームのみんなで相談して決めましょう！

日程	時間	内 容	宿 泊
1日目 3/25 (水)	9:16 9:30 10:23 11:18 13:59	福島発 郡山発、東北新幹線「やまびこ 128」にて大宮へ 大宮着、北陸新幹線に乗り換え 大宮発、北陸新幹線「はくたか 559」にて金沢へ 金沢着、着後バスにて宿泊滞在先へ(約1時間) 着後、オリエンテーション	白山市瀬戸 (白山ろく少年自然の家)
2日目 3/26 (木)	午前 午後	仲良くなろう！(ゲームなど) フィールドワーク 「春を待つ動物たちを探そう・春の森を歩こう」	白山市瀬戸 (白山ろく少年自然の家)
3日目 3/27 (金)	午前 午後	フィールドワーク 「春の妖精を探そう」 クラフトワーク 「春を呼ぶ『ふくさげ飾り』づくり」	白山市瀬戸 (白山ろく少年自然の家)
4日目 3/28 (土)	終日	自由遊び(みんなで決めよう、みんなで遊ぼう)	白山市瀬戸 (白山ろく少年自然の家)
5日目 3/29 (日)	終日	貸切バスにて金沢市内へ 社会学習(兼六園、金沢城、21世紀美術館など)	白山市中宮 (吉野谷セミナーハウス)
6日目 3/30 (月)	終日	社会学習(社会貢献活動) いつも「ふくしまキッズ」を応援して下さる地元の農家さん で農業体験とありがとうのお手伝い	白山市中宮 (吉野谷セミナーハウス)
7日目 3/31 (火)	終日 夜	自由遊び(みんなで決めよう、みんなで遊ぼう) 振り返り・フェアウェル	白山市中宮 (吉野谷セミナーハウス)
7日目 4/1 (水)	午前 12:34 15:02 15:26 16:18 16:32	宿泊滞在先からバスにて金沢駅へ 金沢発、北陸新幹線「はくたか 564」にて大宮へ 大宮着 大宮発、東北新幹線「つばさ 143」にて、郡山・福島へ 郡山着 福島着	

プログラム中の生活について

子どもたちには身の回りの事は出来る限り自分でしていただきます。スタッフやボランティアは、基本的には見守り、必要に応じて補助をします。

基本的な生活スタイル

6:30 起床 身支度、洗面など
7:00 清掃
7:30 朝食
・・・生活の時間(宿題・読書・洗濯・休息など、各自思い思いに過ごす時間)
9:00 午前の活動(体験活動)
12:00 昼食
13:30 午後の活動(体験活動)
・・・生活の時間(宿題・読書・洗濯・休息など、各自思い思いに過ごす時間)
16:30 夕食の準備
17:30 夕食
19:00 生活の時間(入浴・宿題・読書・洗濯・休息など、各自思い思いに過ごす時間)
21:00 寝る前の心を穏やかにして過ごす時間
21:30 消灯(就寝)

4. 子どもたちの主な活動・宿泊場所、現地での医療体制等について

子どもたちの主な活動・宿泊場所

石川県白山市瀬戸

石川県立白山ろく少年自然の家(3/25～29 滞在)

住所:〒920-2331 石川県白山市瀬戸ワ 29 番地

電話番号:076-256-7114

石川県白山市中宮

白山市吉野谷セミナーハウス(3/29～4/1 滞在)

住所:〒920-2324 石川県白山市中宮ヲ-16 番地

電話番号:076-256-7246(団体利用時のみ管理人がおります)

部屋割り・グループ編成について

新しい友だちを作るというのも大切な活動の一つですので、グループ編成は私たちにお任せください(期間途中にグループ編成を替える事もあります)。既存の子どもたちの関係性に固執せず、新しい環境ではじめて会った仲間と人間関係を築くことは、お子さんにとってリフレッシュを促し、社交性を高めるよい方法の一つです。趣旨をご理解いただきご協力ください。

医療体制

鶴来地区:公立つるぎ病院 電話:076-272-1250 住所:石川県白山市鶴来水戸町ノ-1

吉野谷地区:吉野谷診療所 電話:076-255-5019 住所:石川県白山市佐良ニ 124 番地

5. 運営体制等について

ジロバタ自然学校(白山麓ジロバタ舎)のスタッフと相談員(主に学生のボランティア)、その他地域の様々な方も参加し、生活面も含めて子どもたちをサポートします。ふくしまキッズ(金沢・白山麓プログラム)では、ボランティアの方を「相談員」と呼んでいます。先生でも指導員でもリーダーでもありません。それは相談員は子どもたちと同じ目線で話をし、一緒に遊び、一緒に考え、一緒に悩みながら一つのプログラムを創り上げる存在であるということだからです。

相談員の主な役割は、

- ー 子どもたちと一緒に思いっきり遊ぶ
- ー 子どもたちの挑戦を見守り応援し、サポートする
- ー 子どもたちのよき相談相手になる
- ー 子どもたちが約束事に則った集団生活を出来るようサポートする
- ー 子どもたちに約束を守る大切さとその理由を伝える

です。また、各班を担当する相談員以外にも、男女1名ずつの「誰でも何でも相談員」を配し、子どもたちからのあらゆる相談事に応じます。

現地運営体制

受入団体名:ジロバタ自然学校 所在地:石川県白山市八幡町 367-2

総責任者:南 修(ジロバタ自然学校 校長)

連絡先:中嶋 謙仁(白山麓ジロバタ舎 事務局) 電話:080-4254-7811

プログラムディレクター:南 修

安全管理責任者:中嶋 謙仁

プログラム中の連絡先: 中嶋 謙仁 (携帯電話: 080-4254-7811)

南 修 (携帯電話: 090-7749-0702)

6. 往路について

出発までの流れ

- 集合場所・時間:福島駅(列車共通集合場所)8時45分
- 集合場所・時間:郡山駅(列車共通集合場所)9時00分

乗車前の注意事項

1. 集合前に各自で、朝食とトイレを済ませておいて下さい。
2. 参加人数や列車の予約状況によって、利用予定の列車が上記から変更となる場合があります。変更となった場合には保護者の皆様に予めご連絡します。
3. スタッフが福島駅・郡山駅の各集合場所に待機します。「ふくしまキッズ」の旗が目印です。
4. 順次、名前を確認し受付をします。時間に余裕を持って集合時間に遅れないようにして下さい。
5. 乗り物酔いをする心配がある場合は、予め酔い止め薬をお飲みください。
6. 途中乗り換えがあります、手荷物は車内に持ち込むデイパック(初日の昼食のお弁当、水筒、保険証のコピー、おやつ、衛生用品、みんなで遊べるカードゲーム、本、宿題など)にまとめてください。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、必ず引率責任者 中嶋謙仁 携帯 080-4254-7811までご連絡ください

7. 復路について

- 解散場所:郡山駅(列車共通解散場所)、列車到着予定時間:16時18分
- 解散場所:福島駅(列車共通解散場所)、列車到着予定時間:16時32分

解散について

- スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。
- お迎えが保護者以外の方(友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、**必ず引率責任者中嶋謙仁 携帯 080-4254-7811までご連絡を下さい。**

8. 持ち物

- 大きな荷物の送り先について
送り先

〒920-2331 石川県白山市瀬戸ワ 29 番地 TEL:076-256-7114

「石川県立白山ろく少年自然の家」管理事務所 気付け

3/25 到着予定「ふくしまキッズ」参加者 ○○○○宛て(○には参加者の名前)

※ 配送業者に荷物の到着日を「**3月25日(水) 必着**」とご指定頂き、万一の遅延に備え**遅くとも『3月23日(月)』までには出荷**してください。

※ 配送は、宿泊滞在地周辺の配送事情により『ヤマト運輸』でお願いします。また『往復宅急便』をお勧めします(片道づつ配送を依頼するより割引になります)。無理な方は、復路に利用する「着払い伝票」に必要事項を記入の上、お子さんに持参させて下さい。

※ 伝票には、保護者の方のお名前も(コメント欄に)併記して下さい。

■大荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

※準備については、必ずお子さんも関わるようにし、どこに何が入っているか解るようにしましょう。

<input type="checkbox"/>	旅行用かばん(トランクが便利です。段ボール、衣装ケースは不可)
<input type="checkbox"/>	着替え ー活動(主に日中の)用の長袖・長ズボン ※3セット(以上) - 入浴後の室内着(長袖のジャージやスウェットなど) ※2セット(以上) - パジャマ(室内着で兼ねることも可能) ※1セット(以上) - 靴下・下着 ※3セット(以上)
<input type="checkbox"/>	防寒着(フリースやセーターなど)※2枚
<input type="checkbox"/>	防寒上着(ダウンジャケット、マウンテンパーカーやウインドブレーカーなど) ※雪遊びなどで使うので、撥水性のあるもの
<input type="checkbox"/>	防寒用の小物(手袋・帽子・マフラー・耳当て、タイツなど) ※下記「活動の際の服装について」を参照
<input type="checkbox"/>	スノーブーツ(雪用の長靴でも可)と撥水性のある手袋 ※下記「活動の際の服装について」を参照
<input type="checkbox"/>	室内履き(室内での活動の際に使います)
<input type="checkbox"/>	バスタオル2枚 タオル4枚
<input type="checkbox"/>	洗面用具(歯ブラシ、シャンプー、リンス、石鹸など)
<input type="checkbox"/>	生理用品(活動中に初潮となる可能性がある場合も持参してください)
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット・洗濯ばさみ(自分のものを入れて洗濯して干します)・洗濯洗剤、使い捨てのハンガー
<input type="checkbox"/>	黄色いバンダナ (今まで参加して既に持っている子)今回参加の新しい分は、集合の時に配ります。
<input type="checkbox"/>	小さく丸めることのできるエコバッグ(ちょっとした着替えや洗濯物を入れるのに便利)
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(レジ袋)3~4枚程度
<input type="checkbox"/>	冬休みの宿題や課題学習(必要であれば)

■当日手荷物用・サブザック(両手が使えるデイパック、リュックサックが望ましい)

<input type="checkbox"/>	1日目、昼食のお弁当(車内で食べるのでおにぎりなど手軽に食べられるもの)
<input type="checkbox"/>	飲み物(水筒やペットボトルにお持ちください)
<input type="checkbox"/>	おやつ(往路の列車内で食べきれぬ量をお持ちください。宿泊施設滞在中など個人のおやつは食べません、また <u>ガムは禁止</u> します)
<input type="checkbox"/>	保険証のコピー(『お子様の名前』と『保険証在中』と記入し封筒に入れて糊付けして下さい。)
<input type="checkbox"/>	電車・バス内を楽しく過ごせるアイテム ※電子ゲームは持参禁止
<input type="checkbox"/>	筆記用具(バンダナに寄せ書きができる油性のネームペンがあると便利)

□	<p>持病薬 持参方法・・・</p> <p>誤飲を防ぐため、予め1回に飲む量の薬(複数の薬を同時に飲む場合は、一緒に飲む薬を一つの袋と一緒にに入れて下さい)を1つの袋(封筒またはジップロックなど)に入れて持参して下さい。なお袋には『お子さんの氏名』と『与薬情報(○月○日、昼食後分など)』を記入して下さい。</p> <p>薬についての情報の提供について・・・</p> <p>下記の情報を添えて下さい。</p> <p>(1)処方された病院、(2)主治医名、(3)与薬の方法、(4)薬の名前、(5)薬の形状、(6)飲ませる時間、(7)薬の働き、(8)副作用など、与薬時の注意事項</p> <p>なお、(4)～(8)については、薬の説明のコピー(処方箋のコピー)がある場合は、そのコピーを添えて頂ければ、記入の必要はありません。</p>
□	酔いどめ・エチケット袋(必要な場合のみ)
□	ふくしまメッセージ
□	<p>財布(小遣いを必要に応じて・適当な額)</p> <p>往復の道中や現地で、外出時に飲み物、お菓子、土産物などを買う事もあります。</p> <p>高額は持たせないで下さい。必要に応じスタッフが管理する場合があります。</p> <p>事務局で預かる必要があると判断されるご家庭はお申し出下さい。</p>
<p><u>その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします(貴重品の紛失や破損の責任は、当舎に過失がある場合を除き負いません)</u></p>	

➤ 北陸地方の気候について

早春の金沢、白山麓は気温の変化が大きく、まだまだ冬を思わせる日もあり、時には雪の舞う日もあります。滞在地の白山市瀬戸は標高310m、中宮は標高450mの山間部になりますので、朝晩と日中の気温差が大きいので、春先の服装を基本にセーターやジャンパーなどで調節するようにしてください。また傘とカップは必ず持ってきて下さい。

過去2年間の3月後半の平均気温

【金沢】 最高 18 ° C / 最低 2 ° C / 平均 8.9 ° C

【白山麓】 最高 15 ° C / 最低 1 ° C / 平均 6.5 ° C

➤ カメラ

持参可能ですが、故障や紛失などをしても責任は負いかねます。(電池、メモリーカードの残量は予め確認してください)

➤ 電子ゲーム機

持参不可です。トランプや UNO など複数の友達と一緒に遊べるカードゲーム等は、持参しても構いません。

➤ 洗濯について

石川県立白山ろく少年自然の家では、洗濯機はありませんが、靴下や下着、シャツ程度の簡単な洗濯物の手洗いは入浴の際に浴室で行ったり洗面台等であれば可能です。また、吉野谷セミナーハウスには洗濯機があります。洗濯物を干すのは滞在している部屋となりますので、その際、クリーニングでもらえる使い捨て針金ハンガーや、洗濯バサミ等があると便利です。

➤ 活動の際の服装について

プログラム中に、屋外で雪遊びや体験をする予定にしていますので、撥水性のあるダウンジャケットやマウンテンパーカー、ウインドブレーカー、トレッキング用のレインウェアなどやスノーブーツ(または雪用の長靴)、手袋などが必要です。その他、帽子や厚手の靴下、マフラーなどがあると屋外での活動の際に、より暖かく過ごせることが出来ます。室内は暖房が効いているので普通の格好で大丈夫です。また天候によっては室内での活動(体育館でのスポーツなど)をすることがあるかも知れませんが、室内用の運動靴(上履き)も持参して下さい。

➤ 忘れ物について

活動終了後に発見されたものについては着払い宅配便で送ります。持ち主のわからないものについては1ヶ月後に処分します。

9. その他

- 参加者の顔写真をメール添付でお送りください

要領: 期日3月6日まで

ハッキリと顔がわかる最近のもの

メール送信時の件名または本文に参加されるお子さんの名前を書いてください。

送信先 nakajima.jirobata@gmail.com 白山麓ジロバタ舎 中嶋宛て

スタッフとボランティアで予め申し込みの際にふくしまキッズ実行委員会事務局に提出された名簿の情報と共に共有し、子どもたちの到着の際に、早く馴染めるように受け入れの準備をする際に使用します。

- 今回の体験活動などに関する質問は下記のメールアドレスまでお送りください。

nakajima.jirobata@gmail.com 白山麓ジロバタ舎 中嶋宛て

送信される際は、参加されるお子さんの名前と保護者の方のお名前を件名もしくは本文にご記入ください。

回答は情報の共有のため全保護者宛にメールにて送信します。(個別事項や個人情報に関わるの質問については、その限りではありません)また、迷惑メールブロックをしている場合は、上記のメールアドレスについて受信可能状態になるよう設定をお願いします。

富士山プログラム

1. 3月25日(水)～4月1日(水) (7泊8日) ※全日程参加が条件

2. 参加対象者と人数: 小学校3年生～6年 定員25人

3. プログラム内容

【富士山満喫！遊牧民キャンプ】

富士山の麓に暮らす人と触れ合ってほしい、富士山の大自然の中で思いっきり遊んでほしい、生きる力(野力)を付けてほしい、いただいた恩をしっかりと返せる大人になって欲しい。そんな思いで今回のキャンプを作りました。

まずは活動1日目、地元の子供達と一緒に活動します。オリエンテーリングをしながら地域の人と触れ合い、みんなで力を合わせて熱気球を立ち上げ、空から富士宮や富士山を見て地元への理解を深めてもらいます。翌日は、富士山と樹海がとってもきれいに見える山にみんなで登山！その後は、富士山の麓に広がる草原で力いっぱい野遊び。翌日は富士山麓に広がる神秘的な樹海や洞窟の探検、そして地下の世界で見た水が流れ着く海へ夜のハイキングだ！総距離約20km！みんなで一緒に歩いて海で朝日を見よう！！たつぷりと自然体験をした後は、自分たちの生きる力を身につけます。「自分のことは自分でする」をモットーに、火おこしやナイフの使い方、有機農家さんのお宅で野菜の収穫、自分たちの手で命をいただき、料理を作ります。そして、最後の夜にはお世話になった方々や地元の人達へ、子供達からのおもてなし。自分達で考えた出し物や屋台を作り上げ、発表したり提供する場を持ちます。さてさて、どんな場ができあがるのかとっても楽しみです。壮大な自然の中で過ごす8日間。きっと、子どもたちは今以上に強く、やさしく、たくましくなること間違いなしでしょう！

プログラムの補足

・朝晩の家畜(犬、鶏、ウサギ、ヤギ)の世話があります。家畜動物を通じて、生き物の大切さや、食への関心を深めます。

・子どもたちは身の回りの事は、できる限り自分でしていただきます。学生ボランティアは基本的には見守り、必要に応じて補助をします。

具体的な内容

		午前	午後	備考
3月25日	水	福島より新幹線移動	オリエンテーション	オリエンテーション
3月26日	木	アイスブレイクゲーム (互いを知る) 里山ロゲイニング (地域を知る、交流)	熱気球 (富士山を仰ぎ見る)	地域を知る・地域の人と交流する ※この日は柚野の子達と交流する1日です。
3月27日	金	パノラマ台登山 (富士山と樹海を眺める。自然満喫)	草原で野遊び (思いっきり野遊び)	自然を満喫し富士山を感じてもらう・自由に遊ぶ
3月28日	土	洞窟樹海探検 (地下世界を体験する)	お昼寝 ナイトハイク (自分への挑戦！)	富士山の地下へと足を運ぶ、そして富士山からの水の流れをたどり海へと出る。自分への挑戦だ！！

3月29日	日	フリーチョイス (のんびり)	農業体験＋料理対決 (食べ物をいただく)	のんびり・地元の有機農家と交流、野菜を収穫し、収穫した野菜で食べ物を自分達で手作りする。
3月30日	月	刃物＆火起こし講習 (野力をつける)	薪割り 命をいただく (命に感謝する)	自分達でマキ割りして、自分達で起こした火で、自分達でしめた生き物の命をいただく。命の大切さを実感。生活を手作りする
3月31日	火	屋台村準備 (自分達で考える)	屋台村実施 (恩に感謝する)	お世話になった人や地元の人に向けて屋台と出し物を手作りする！！ 自分達で考えて、自分達で作る！ 感謝の意味を込めてもてなす。
4月1日	水	ふりかえり おみやげ屋さん	静岡より新幹線移動	8日間のふりかえり・おみやげ屋さん

※ 雨天の場合には、プログラムを変更します。ご了承ください。

プログラム中の生活について

基本的な生活スタイル

06:30 起床

07:00 家畜の世話・朝ごはん

09:00 午前のプログラム(体験活動、自由時間、地域交流など)

12:00 昼食

13:00 午後のプログラム(体験活動、自由時間、地域交流など)

家畜の世話

17:30 夕食

19:00 夜のプログラム(星空観察、キャンプファイヤー、入浴など)

21:00 就寝 スタッフミーティング

※片付けをする時間や掃除をする時間などを、十分に持つようにします。このような活動は学生ボランティアと一緒にを行います。

4. 宿泊場所

ホールアース自然学校 森の家(山小屋みたいなところです)

5. 運営体制

- ・ 団体名: ホールアース自然学校
- ・ 所在地: 静岡県富士宮市下柚野165
- ・ 連絡先: 0544-66-0152
- ・ 担当者等: 村瀬 容子
 - 総責任者: 広瀬 麗子
 - 連絡先事務局: ホールアース自然学校
 - プログラム責任者: 小原 賢二(ホールアース自然学校 研究職員)
 - 安全管理責任者: 小原 賢二(ホールアース自然学校 研究職員)
 - プログラム中の連絡先: ホールアース自然学校 (電話: 0544-66-0152)

○ 医療体制:

- ・ フジヤマ病院 静岡県富士宮市原683-1 TEL:0544-54-1211
- ・ 富士宮市救急医療センター 静岡県富士宮市宮原12-1 TEL:0544-24-9999
- ・ 加藤脳心外科 静岡県富士宮市三園平668-2 TEL:0544-26-6360
- ・ 松本整形外科医院 静岡県富士宮市西町8番8号 TEL:0544-23-7200

運営体制について

プログラム進行を担当するキャンプ長が1名、子ども達と行動を共にしプログラムを実施、生活面をサポートするスタッフが1人、食事や生活面をサポートするスタッフが1名、その他、子どもたちの遊び、生活のサポートをするボランティアスタッフが3名程度で対応します。班構成はとらず、基本的に「全員で子どもたちを見守る」という大家族のような姿勢で子どもたちと過ごします。

部屋割り・グループ編成について

新しい友だちを作るというのも大切な活動の一つですので部屋割り・グループ編成はこちらにお任せください（期間途中に部屋割を替える事もあります）。既存の子どもたちの関係性に固執せず、新しい環境ではじめて会った仲間と人間関係を築くことは、お子さまにとってリフレッシュを促すよい方法の一つです。趣旨をご理解いただきご協力のほどお願いいたします。

6. 往路の移動について

【集合時間】福島駅 8:50集合（9:16発）・郡山駅 9:00集合（9:30発）

【交通経路と時間】 やまびこ 128 福島(09:16 発)→ 郡山(09:30 発)→ 東京(10:48 着)

こだま 694 東京(10:56 発)→ 新富士(12:07 着)

マイクロバスにて移動 新富士 → ホールアース自然学校(約 1 時間)

【移動時間】 約:4 時間

乗車前の注意事項

- ◇ 集合前にトイレを済ませておいて下さい。くれぐれも遅刻の無いよう時間に余裕を持ってお出かけ下さい。
 - ◇ スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。
 - ◇ 受付開始時刻にあわせて名前のチェックを終えてください。
- ※多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。
- ◇ 手荷物は車内に持ち込む荷物デイパック(お弁当、水筒、保険証のコピー、衛生用品)程度にしましょう。
 - ◇ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。
 - ◇ 座席は指定席です。スタッフが号車と座席のおよその場所を示しますので、スタッフの指示に従って列車に順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。乗り込んだ後に席を決めます。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂くか、もしくは、引率責任者の和田(電話:090-8324-7244)までご連絡ください。

7. 復路の移動について

【解散予定時間】 郡山駅(16:30頃) 福島駅(16:40頃)

【交通経路と時間】 マイクロバスにて移動 ホールアース自然学校 → 新富士(約1時間)

こだま 650 新富士(13:36発)→東京(14:47着)

やまびこ 143 東京(15:00発)→郡山(16:18着)→福島(16:32着)

解散について

☆ スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方(友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず引率責任者の和田(電話:090-8324-7244)までご連絡を下さい。

8. 持ち物

■大荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

また、来る前からキャンプは始まっておりますのでお子さまと一緒に荷造りをお願いいたします。

※カメラ等の持参は可ですが、故障や紛失などしても責任は負いません。

※テレビゲームなどの電子機器やカードゲーム、マンガ、おかし、おもちゃは持ってこないでください。

※子どもキャンプの貴重品(お金・切符・保険証)はホールアース自然学校に到着後、解散時までお預かりします。キャンプ中にお金を使う機会は一切ありませんが、終了後にお土産(フェアトレード商品やホールアースオリジナルグッズなど)を買うことができます。お小遣いの目安は2,000円程度です。

<input type="checkbox"/>	旅行用かばん(移動が多々あります。段ボール、衣装ケースは不可)
<input type="checkbox"/>	着替え(長袖・長ズボン・ジャージ上下)※洗濯は可能です(ふくしまキッズ中1~2回程度)
<input type="checkbox"/>	下着類2~3枚
<input type="checkbox"/>	寝まき(ジャージなど)
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚~3枚・バスタオル1枚
<input type="checkbox"/>	防寒着(ダウン、フリース、ニット帽、手袋、マフラーまたはネックウォーマーなど)
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット・洗濯バサミ
<input type="checkbox"/>	懐中電灯・ヘッドランプ(予備電池) ※家にあるもので可
<input type="checkbox"/>	洗面用具、シャンプー、リンス
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(レジ袋)3から4枚程度
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	寝袋(レンタル有り 1,000円/個 ※当日現地(静岡)にてお支払い)
<input type="checkbox"/>	雨具(上下セパレート式がオススメ)
<input type="checkbox"/>	長靴(家畜動物の世話用)
<input type="checkbox"/>	軍手(家畜動物の世話用)
<input type="checkbox"/>	お小遣いお土産用(2,000円程度)

■当日手荷物用・サブザック(リュックタイプが望ましいです。)

<input type="checkbox"/>	初日昼食のおにぎり弁当!!
<input type="checkbox"/>	飲み物。水筒に入れてお持ちください。
<input type="checkbox"/>	保険証写し
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	常備薬(必要な子)

<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ

■大荷物の送り先について

〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165 ホールアース自然学校 ふくしまキッズ苑
TEL : 0544-66-0152

※配送業者に荷物の到着日を「3月20日(金)午後 必着」とご指定下さい。

※配送は「ヤマト運輸・往復宅急便」でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。他の運送業者では集荷が無い場合がございますのでご協力お願いいたします。

※伝票には、保護者の方の名前のならびに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。

京都プログラム

1. 3月26日(木)～4月4日(土) (9泊10日) ※全日程参加が条件

2. 参加対象者: 小学校3年生～中学校3年生

3. プログラム内容

【京都の自然豊かな山村での暮らしと体験を経て】京都美山～ 大阪・京都市内

「清流美山川」と「かやぶきの里」で知られる京都・美山の山村を拠点に自然体験、山村体験プログラムを行います。地元小中学生とのスポーツ交流を皮切りに、清流のラフティング、残雪の残る春山のハイキングなどを共に行うアウトドア体験、そして日々の生活ではヤギなどの動物の世話や牧場へのお使いなど様々な仕事に取り組みます。活動の後半には拠点を大阪府舞洲、そして京都・城陽市に移し、パラグライダー体験や都会の海辺での優雅なキャンプ、野外炊事など、そして唯一の観光のお楽しみは、今年は桜満開の大阪市内に決めました！こてこての関西弁や笑い溢れる大阪らしい場所へご案内。

京都周辺の豊かな自然と人の暮らし、そして文化を感じられる9泊10日のプログラムです。

京都プログラムを共催する関西自然教育ネットワーク(KENN)の仲間たち、そして各受け入れ先の地域の皆様とともに心よりふくしまキッズの到着をお待ちしております！！

日にち		内 容
3月26日	木	福島出発、京都から美山までバス移動 ウェルカムパーティー
3月27日	金	活動拠点 京都美山 (受け入れ担当団体 田歌舎、江和ランド) 天候に合わせてプログラムは入れ替えます。 内容 ラフティング、ハイキング、サイクリング、ロープクライミング、魚釣り お餅つき、地元小中学生とのスポーツ交流など
3月28日	土	
3月29日	日	
3月30日	月	
3月31日	火	
4月1日	水	活動拠点 大阪舞洲 (受け入れ担当団体 ウェストジャパンアウトドアスクール) パラグライダー体験 海辺のコテージ(ログハウス)で優雅な一晚を満喫 大阪観光 (大阪の面白いところをいろいろ訪問)
4月2日	木	
4月3日	金	活動拠点 京都 城陽市 (受け入れ担当団体 青少年野外活動総合センター「友愛の丘」) 自炊体験、各種ショートプログラム、フリータイム 10日間で育んだチームワークを活かしたプランを考案中！(料理対決など)
4月4日	土	

プログラムの補足

- ・京都美山を中心とした各地域の自然素材を活用した体験活動を行います。
- ・子どもたちは身の回りの事は、できる限り自分でしていただきます。学生ボランティアは基本的には見守り、自立した形で生活が出来る様に必要に応じて補助いたします。
- ・「生活時間」とは、洗濯や身の回りの整頓、勉強などの時間です。
- ・プログラム内容については年齢差、体力差、また体調も考慮して行います。
- ・体調に応じてプログラム休む場合にも、体調に合わせて楽しめるプログラム(遊び・体験)を用意しています。

具体的な内容

- ◇自然体験 早春ハイキング／ラフティング(川下り)／パラグライダー(斜面を少し浮き上がる程度の初心者体験)／サイクリング／ロープクライミングなど
- ◇山村体験 地元小学生とのスポーツ交流体験／牧割り、家畜の世話、鹿や鶏の解体など
- ◇観光 大阪市内 京都駅周辺

プログラム中の生活について

方針

- ・「上げ膳据え膳」ではなく、衣食住に関する日常の作業を、出来るだけ子供たち同士で考え、協力し合い行います。スタッフは子供たちの自発性を見守り、必要に応じてサポートします。

ねらい

- ・仲間や自然、動物に対して思いやりの気持ちを育む。
- ・毎日の「心を込めた食」を通して「いただきます」と「ごちそうさま」の気持ちを育む。
- ・出来るだけ自由行動の時間を設け、子供達同士の自発的な遊びを支援する。

基本的な生活スタイル

6:30 起床

6:45 家畜の世話・朝ごはんの準備・洗濯など

7:30 朝ごはん～自由時間

9:30 プログラムの準備～開始

昼食

15:00 プログラム終了～片付け、着替えなど

生活時間(洗濯や学習など)～自由時間

18:30 夕食

19:30 夜のプログラムまたはミーティング

4. 宿泊場所

◇ 1～6泊目(分宿)

田歌舎

[TEL:0771-77-0509](tel:0771-77-0509)

京都府南丹市美山町田歌上五波1

観光農園江和ランド

TEL:0771-77-0330

京都府南丹市美山町江和

◇ 7泊目

ホテル ロッジ舞洲 コテージ

[TEL:06-6460-6688](tel:06-6460-6688)

大阪市此花区北港緑地 2-3-75

☆ 8～9泊目

青少年野外活動センター友愛の丘 TEL:0774-53-3566

京都府城陽市寺田南中芝80

5. 運営体制

団体名： 関西自然教育ネットワーク(KENN)

所在地： 〒604-8423 京都府京都市中京区西ノ京西月光町 18-2-1 (PENS事務局内)

連絡先： 砂山真一 (PENS 代表理事 KENN 運営委員長) 携帯 090-9058-0975

担当者等：

- 総責任者： 藤原 誉 (田歌舎代表) 090-5060-5909
- 連絡先事務局： 田歌舎事務局 0771-77-0509
- プログラム責任者： 藤原 誉
- 安全管理責任者： 砂山真一 (PENS)
- プログラム中の連絡先： 田歌舎 0771-77-0509
- 医療体制： 負傷、体調不良の際にはスタッフ同伴の元、以下の医療機関を利用する

京都美山拠点時

・美山診療所 京都府南丹市美山町安掛下8番地 TEL:0771-45-1113

・京北病院 京都市右京区京北下中町鳥谷3 TEL:075-854-0221

大阪舞洲拠点時

・大阪暁明病院 大阪市此花区西九条5丁目4-8 TEL:06-6462-0261

京都城陽市拠点時

・木津川病院 京都府城陽市平川西六反26-1 TEL:0774-54-1111

運営体制について

総括責任者の下に、各宿舎、各プログラムに1名の担当責任者を置き、各施設の複数のスタッフが食事、プログラム等の実施と安全管理、指導を役割分担して行います。子供たちの直接的なサポート体制は、全体を男女2班ずつ、計4班に分け、常に子供たちと行動を共にし、生活面も含めてサポートするリーダースタッフが各班に1名以上が付き、常時、各担当責任者、スタッフと連絡を取り合いながら安全管理、運営を行います。

部屋割り・グループ編成について

新しい友達を作るというのも大切な活動の一つですので部屋割り・グループ編成はこちらにお任せ下さい。

既存の子供たちの関係性に固執せず、新しい環境ではじめてあった仲間と人間関係を築くことは、子供達にとって大切な機会であり、リフレッシュにも繋がります。趣向をご理解いただきご協力をお願いします。

6. 往路の移動について

【集合時間】 福島駅集合・受付開始 8時45分 郡山駅集合・受付開始 9時

【交通経路と時間】 新幹線にて東京経由、京都まで約4時間 京都よりJR園部駅まで約40分 園部駅より美山宿泊先までバス移動約1時間

乗車前の注意事項

- ☆ 集合前にトイレを済ませておいて下さい。くれぐれも遅刻の無いよう時間に余裕を持ってお出かけ下さい。
- ☆ スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。

◇ 受付開始時刻にあわせて名前のチェックを終えてください。

※多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。

◇ 手荷物は車内に持ち込む荷物デイバック(お弁当、水筒、保険証のコピー、衛生用品)程度にしましょう。

◇ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。

◇ 座席は指定席です。スタッフが号車と座席のおよその場所を示しますので、スタッフの指示に従って列車に順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。乗り込んだ後に席を決めます。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂くか、もしくは、引率責任者 青木(電話:090-6940-4333)までご連絡ください。

7. 復路の移動について

【解散予定時間】 郡山駅着 17:30頃 福島駅着 17:40頃

【内訳】 JR長池駅(京都府城陽市)から東京駅まで約3時間、東京駅から福島(郡山経由)まで約1時間半

解散について

◇ スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方(友達の前保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず引率責任者 青木(電話:090-6940-4333)までご連絡を下さい。

8. 持ち物

■大荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	旅行用かばん(移動が多々あります。段ボール、衣装ケースは不可)
<input type="checkbox"/>	着替え(長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下・靴下・下着)
<input type="checkbox"/>	防寒着(分厚いセーター・フリースは必ず1枚は入れてください。)
<input type="checkbox"/>	洗面用具
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚～3枚、バスタオル1枚
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット・洗濯バサミ
<input type="checkbox"/>	防寒手袋(トレッキング、パラグライダーなどで使用)
<input type="checkbox"/>	防寒具(毛糸の帽子、ネックウォーマーなど)
<input type="checkbox"/>	雨具(上下セパレート式が望ましい)
<input type="checkbox"/>	防水・撥水性の高い運動靴(アウトドア活動用)
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(レジ袋)4から5枚程度
<input type="checkbox"/>	懐中電灯またはヘッドランプ (予備電池)
<input type="checkbox"/>	上履き(体育館シューズでよい)
<input type="checkbox"/>	あれば、速乾性のあるアンダーウェア(ラフティングに使います)
<input type="checkbox"/>	濡れてもいいジャージズボン、(複数あれば併用可、ラフティングに使います)
<input type="checkbox"/>	水着(ラフティングに使います)
<input type="checkbox"/>	ウォーターシューズまたは、水に濡れてもいい運動靴 併用可(ラフティングに使います)
<input type="checkbox"/>	春休みの課題学習(必要であれば)

※当日手荷物用・サブザック(リュックサックが望ましい)

<input type="checkbox"/>	保険証の写し
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	1 日目のお弁当（移動中に食べます。おにぎりなど手軽に食べられるものをご用意ください）
<input type="checkbox"/>	飲み物。水筒やペットボトルにお持ちください。
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔い止め・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	お小遣い
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします（貴重品の紛失や破損の責任は負いません）	

大荷物の送り先について

（送り先・注意事項など）

〒601-0702 京都府南丹市美山町田歌上五波1 田歌舎 ふくしまキッズ宛 TEL:0771-77-0509

※配送業者に荷物の到着日を「**3月26日(木)必着**」とご指定ください。

※配送は「ヤマト運輸・往復宅急便」でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。

※伝票には、保護者の方の名前のなほに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。

9. その他の注意点

今回の体験活動などに関する質問は下記のメールアドレスまで。

homaru@cans.zaq.ne.jp（田歌舎 藤原個人メール）

回答は、必要と思われる内容に関しては全保護者にメールを送信します。（個別事項の質問についてはその限りではありません。）

迷惑メールブロックをしている場合は上記のメールアドレスについて受信可能状態になるよう設定をお願いします。

長崎プログラム

1. 開催日：平成27年3月25日(水)～3月30日(月) (5泊6日)

2. 参加対象：小学1年生～小学6年生 定員 15名

3. プログラム内容(主な活動のみ)

長崎純心大学が中心となって活動を行い、自然体験や長崎さるくを計画しています。福島より南に位置する長崎で温かい春休みを一緒に過ごしましょう。私達も子ども達と一緒に思いっきり走り回って、笑顔で活動を楽しみたいと思います。

	活動内容	宿泊施設
3月25日(水)	福島―諫早着 18:30―(バス)―自然の家 19:30―オリエンテーション―就寝	国立諫早青少年自然の家
3月26日(木)	朝食―(バス)―休憩(じゃがちゃん)―小浜足湯体験・昼食(自然の家で弁当注文)12:20―(バス)―加津佐イルカウォッチング 15:00―(バス)―自然の家―夕食―入浴―就寝	国立諫早青少年自然の家
3月27日(金)	朝食―フードハンティングラリー・野外炊飯(諫早青少年自然の家)14:00―アスレチック遊び―夕食―入浴―学生レクリエーション―荷造り―就寝	国立諫早青少年自然の家
3月28日(土)	朝食―荷造り―(バス・公共交通機関)―平和学習 11:00―(徒歩)―昼食(さくら食堂)12:10―散策経路計画 13:00―(徒歩)―交通公園または体育館にて自由遊び―ホームステイ先へ(宿泊)14:30	ホームステイ
3月29日(日)	かもめ広場集合 9:30―長崎さるく開始 10:00―お別れ会会場集合・開始 15:00―お別れ会終了 17:00―各自、ホームステイ先へ(宿泊)17:30	ホームステイ
3月30日(月)	かもめ広場集合 8:30―お見送り会―長崎駅出発 9:20	

プログラムの補足

・昨年のプログラムで好評だった、雲仙市千々石町名物「じゃがちゃん」をみんなで食べられるようにプログラムの中に組み込みました。また、悪天候のため、実施できなかった加津佐の「イルカウォッチング」も取り入れ、昨年以上にプログラムが盛り上がるよう計画しています。雨天時の対応については、活動内容をいくつか準備します。子どもたちに選択肢を与え、内容を決めてもらうようにします。

・長崎市内へ移動後の活動では、被爆マリアの見学や長崎さるくを取り入れています。異国情緒あふれる街並みと長崎ならではの歴史を学生と子どもが一緒にさるくしながら、触れ合える時間を設けています。

・長崎さるくでは、バスや電車を使います。食事、お土産代は各自負担になりますので、お小遣いの準備をお願い致します。(3000円程度)

・今回は、宿泊先としてホームステイを取り入れました。長崎の「家族」との出会いで社会性と、信頼関係を築いていきます。

・記載してあるプログラム以外にもバラエティに富んだ多くの活動を計画しています。学生も子ども達と一緒に思いっきり走り回り、笑顔いっぱい活動を楽しみたいと思います。

●ホームステイについて

・3月28日(土)、3月29日(日)の二日間、ホームステイを行います。主に、学生ボランティアの自宅にてホームステイを行います。その際、地域の方々にもご協力いただいております。

・ホームステイ先が確定いたしましたら、現地担当者からホストファミリーの住所・電話番号・メールアドレスを明記したものを送付させていただきます。そちらが届きましたら、その住所宛てに子ども達にお手紙を書いてもらい、送るようお願いいたします。尚、保護者様は、ホストファミリーへの依頼の連絡をメールまたは、電話で行ってください。

(手紙の内容・形式に指定はありません。自分の好きな事など、楽しみにしていることなど、自由に書いてください。)

・ホームステイ終了後は、ホストファミリーへお礼の連絡をしてください。

詳細につきましては、確定後、ご連絡をいたします。

●自分の目標を決める

長崎での目標を決めてきてください。自分で考えても、ご両親と考えても構いません。

●ケガについて

ふくしまキッズの保険で対応いたします。病院に行く場合は、必ずご両親に連絡をいたします。(※電話に出られない場合、緊急の対応は事務局の判断で行います。)

●洗濯について

3月27日(金) 諫早青少年自然の家にて最終泊の際、コインランドリーが遠方にあるため、学生がまとめて洗濯をいたします。洗濯ネットを用意し、分かりやすいところに大きく、はっきりと記名をして準備をお願いします。

4. 子ども達の主な活動・宿泊場所

○諫早市 国立諫早青少年自然の家	TEL:0957-25-9111	長崎県諫早市白木峰町 1109-1
○長崎市 長崎純心大学	TEL:095-846-0084	長崎市三ツ山町 325 番地

5. 運営体制について

- 総責任者 片岡 瑠美子 (長崎純心大学学長)
- 連絡先事務局 松永 公隆
- プログラム・安全管理責任者 松永 公隆・田中 珠美
- 医療・カウンセリングチーム 松永 公隆・田中 珠美
- 活動中の連絡先

松永 公隆	連絡先 090-1348-7859
長崎純心大学	連絡先 095-846-0084

○その他の緊急連絡先

委員長 堀口 葉月	連絡先 090-5481-6582
副委員長 平野 晶子	連絡先 090-1531-4851

6. 住路について

【集合時間・受付時間】

福島駅→集合・受付開始時間 9時20分 9時51分発(やまびこ130号)

郡山駅→集合・受付開始時間 9時30分 10時 6分発(やまびこ130号)

【交通経路と時間】

・福島県内—(JR)—東京—(飛行機)—長崎

福島駅(9:51)—郡山(10:06)東京駅(11:28) やまびこ 130 号

羽田空港(14:05)—長崎空港(17:32) JAL1847

リムジンバスにて諫早駅へ。

乗車前の注意事項

◇ 集合前にトイレを済ませておいて下さい。くれぐれも遅刻の無いよう時間に余裕を持ってお出かけ下さい。

◇ スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。

◇ 受付開始時刻にあわせて名前のチェックを終えてください。

※多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。

◇ 手荷物は車内に持ち込む荷物デイパック(お弁当、水筒、保険証のコピー、衛生用品)程度にしましょう。

◇ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。

◇ 座席は指定席です。スタッフが号車と座席のおよその場所を示しますので、スタッフの指示に従って列車に順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。乗り込んだ後に席を決めます。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂くか、もしくは、引率責任者福島駅・堀口(090-5482-6582) 郡山駅・平野(090-1531-4851)までご連絡ください。

7. 復路について

【到着・解散予定時間】

福島駅→列車到着予定時刻 17時32分 (やまびこ145号)

郡山駅→列車到着予定時刻 17時18分 (やまびこ145号)

【交通経路と時間】

長崎—(JR)—福岡—(飛行機)—東京—(JR)—福島県内

長崎駅(08:46)—博多駅—(10:52) かもめ10号

福岡空港(12:10)—羽田空港(13:45) スカイマーク10号

東京駅(16:00)—福島駅(17:32) やまびこ145号

解散について

◇ スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。必ずスタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方(友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず引率者まで福島駅・堀口(090-5482-6582) 郡山駅・平野(090-1531-4851)までご連絡ください。

8. 持ち物について

■大荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	最低3泊分の着替え(長袖、長ズボン、長袖ジャージ上下、下着、靴下等)
<input type="checkbox"/>	防寒用衣類(朝晩、悪天候時は冷え込むことが予想されます。忘れずに準備をお願いします。)
<input type="checkbox"/>	タオル(3～4枚程度)
<input type="checkbox"/>	バスタオル又はスポーツタオル(2枚程度)
<input type="checkbox"/>	帽子
<input type="checkbox"/>	洗面用具(シャンプー、ボディーソープはこちらで準備します。)
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット(大きめのネットに必ず記名をして、準備をお願いします。)
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(3～4枚程度)
<input type="checkbox"/>	体育館シューズ
<input type="checkbox"/>	折り畳み傘・カッパ(どちらかで可)
<input type="checkbox"/>	お小遣い(※長崎さるく、お土産代 3000 円程度)

■当日の荷物(※活動中の手荷物バッグの中に入れるもの)

<input type="checkbox"/>	3月25日(水)の昼食のお弁当(弁当箱は捨てられる物にすること) おにぎり弁当
<input type="checkbox"/>	水筒(熱い飲み物を入れても対応できるものにしてください。) ペットボトル不可
<input type="checkbox"/>	保険証写し(封筒に入れてのりづけ、氏名を記載)
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	ハンカチ・ティッシュ・生理用品など
<input type="checkbox"/>	常備薬(必要な子どものみ)
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
<u>その他、自分が必要なものは自己責任の範囲でお願いします。(子どもが個人で所持している貴重品の紛失や破損の責任は負いません。)</u>	

●貴重品について

紛失や故障について、事務局では弁償いたしません。財布等の管理について、不安な点がある子どもについては、スタッフに預けて下さい。

●荷物について

子どもたちの持ち物には、すべて記名をお願いします。記名されていないもので紛失しても責任は負うことは出来ません。

不要なゲーム、漫画、音楽機器は持たせないで下さい。(期間中に所持しているのを見つけたら、こちらで預かり、最終日にお返しします。)

●大きな荷物の発送先

国立諫早青少年自然の家 〒859-0307 長崎県諫早市白木峰町 1109-1

TEL:0957-25-9111 FAX:0957-25-9115

※₁ 今回は配送業者を ゆうパック に限定させていただきます。(往復どちらも)

※₂ 3月24日(火)午前 までに荷物の到着が完了出来るように発送をお願いいたします。

※ 伝票には、保護者の方の名前のなびに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。

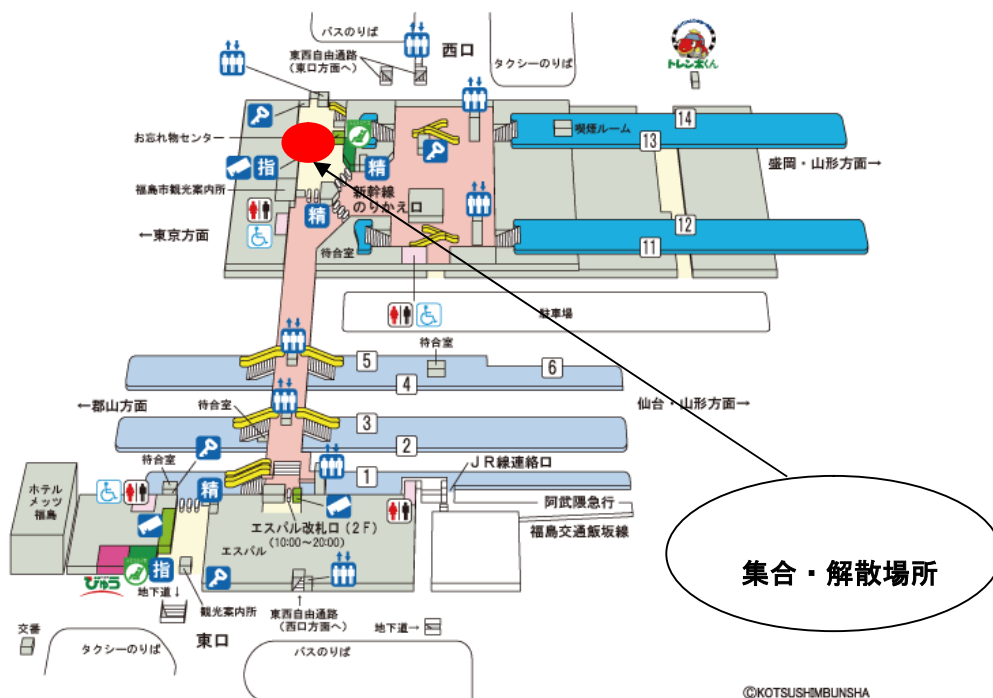
列車共通集合解散場所

郡山駅集合解散場所地図



JR郡山駅内に入ると、2階に改札(中央口)があります(郡山駅にある改札は1つです)。改札の前に通路があり、その中央部のスペースが集合場所です。
※当日の駅の状況により場所を多少変更する場合があります。

福島駅集合解散場所地図



JR福島駅の2階に西口改札があります。階段を上がってすぐのスペースが集合場所です。
※当日の駅の状況により、西口改札の階段から降りてすぐの駅玄関前(外側)に場所を多少変更する場合があります

協 力

NPO法人ねおす・NPO法人 ezorock・ゆうばりネイチャーキッズクラブ
NPO 法人北海道自然体験活動サポートセンター・三笠市教育委員会・夕張市教育委員会
岩見沢市教育委員会・北海道教育大学
南北海道グリーンツーリズム運営連合会・大沼グリーンツーリズム運営協議会
一般社団法人子どものチカラ研究会・NPO 法人大沼駒ヶ岳ふるさとづくりセンター
(株)流山 大沼流山牧場
NPO 法人あぶくまエヌエスネット・明治安田生命
岐阜県教育委員会・各務原市教育委員会・高山市教育委員会・垂井町教育委員会
名古屋市教育委員会・ふるさと体験飛騨高山・高山田城ライオンズクラブ
ぎふ学生ボランティア地域活動ネットワーク推進協議会
ホールアース自然学校
興徳寺・一般社団法人エヘガザル富士山牧場・YUNOどんぐりの会
ジロバタ自然学校(白山麓ジロバタ舎)
関西自然教育ネットワーク(KENN)(京都ユースホステル協会、観光農園江和ランド、
長崎市教育委員会

(順不同)



福島の子どもの笑顔と元気応援プログラム 
ふくしまキッズ実行委員会

E-Mail: info@fukushima-kids.org
TEL: 045-243-3860 FAX: 045-243-6841
住所: 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 3-46 浦舟複合福祉施設 9F
NPO 教育支援協会内 ふくしまキッズ実行委員会事務局